

磐田市消防本部個人貸与品（活動服他）

仕様書

令和7年度単価契約

磐田市消防本部

第1 総則

本仕様書は、磐田市消防本部（以下「消防本部」という。）が令和7年度に購入する個人貸与品（活動服他）（以下「個人貸与品」という。）の単価契約について必要な事項を定める。

第2 一般事項

- 1 個人貸与品は、本仕様書に定める規格に適合するものであること。
- 2 本仕様について疑義が生じた場合は、消防本部と協議し誤りのないようにすること。不明な点は、消防本部へ確認し仕様書を十分熟知のうえ契約するものとする。契約後に生じた疑義は、すべて消防本部の解釈に従うものとする。
- 3 諸般の事由により本仕様に変更等を要する場合は、消防本部と協議を行い、承認を得た場合のみ変更することができるものとする。なお、その旨の書類を提出すること。

第3 金額

- 1 金額は、配送料を含めた金額（税抜）とする。また、契約締結日翌日から令和8年3月31日までは、締結金額とする。
- 2 支払いは、その都度請求するものとする。

第4 検査事項

納入時に、係員立会による検収を受けること。

第5 保証期間

各個人貸与品の保証期間は、メーカーが公表する期間とする。ただし、材質や製品の不備等によるものは、保証期間経過後においても、受注者の負担により早急に修理または改善をすること。

第6 納入物品及び数量

別表1「磐田市消防本部個人貸与品一覧（活動服他）及び予定数量」のとおり。

第7 納入期限

受注日に、納入予定日をあらかじめ報告すること。納入時期等に大幅な変更がある場合は、消防本部と協議を行うこと。

第8 納入場所

磐田市福田 400 番地磐田市消防本部または、磐田市今之浦二丁目 14 番地 2 磐田市消防署とする。納入場所は、事前に消防本部と調整を図ること。

令和7年度 磐田市消防本部個人貸与品一覧(活動服他)及び予定数量

番号	品 目	仕 様	単位	予定数量	単価(税抜)	合計金額(税抜) 【予定数量×単価(税抜)】
1	夏活動服上着(長袖)	磐田仕様TX9100FV(イマジョー製ストレッチ)	着	30		
2	夏活動服上着(半袖)	磐田仕様TX9100FVH(イマジョー製ストレッチ)	着	10		
3	夏活動服ズボン	磐田仕様TX9101DF(イマジョー製ストレッチ)	本	40		
4	冬活動服上着(長袖)	磐田仕様TX9000FV(イマジョー製ストレッチ)	着	30		
5	冬活動服ズボン	磐田仕様TX9001DF(イマジョー製ストレッチ)	本	40		
6	活動服ベルト・2穴反射付	2本ピンバックル付	本	30		
7	救急服・夏服・上着(長袖)	磐田仕様TX9920(イマジョー製)	着	10		
8	救急服・夏服・上着(半袖)	磐田仕様TX9920H(イマジョー製)	着	4		
9	救急服・夏服・ズボン	磐田仕様TX9901(イマジョー製)	本	10		
10	救急服・冬服・長袖・上着	磐田仕様TX9810(イマジョー製)	着	6		
11	救急服・冬服・ズボン	磐田仕様TX9801(イマジョー製)	本	8		
12	救急服ベルト・2穴反射付	2穴、反射付	本	9		
13	救助服上衣	磐田仕様NX4040TO(イマジョー製ストレッチ)	着	15		
14	救助服ズボン	磐田仕様NX4040PO(イマジョー製ストレッチ)	本	15		
15	救助服用ヘルム	2本ピンバックル付	本	10		
16	男性用 夏制帽	NK530L	個	3		
17	男性用 夏制服・上着	NK400L	着	3		
18	男性用 夏制服・ズボン	NK530L	本	3		
19	男性用 冬制帽	NK600	個	15		
20	男性用 冬制服・上着	NK600	着	3		
21	男性用 冬制服・ズボン	NK600	本	5		
22	女性用 夏制帽	NK530L	個	2		
23	女性用 夏制服・上着	NK400L	着	2		
24	女性用 夏制服・ズボン	NK530L	本	2		
25	女性用 冬制帽	NK600	個	2		
26	女性用 冬制服・上着	NK600	着	2		
27	女性用 冬制服・ズボン	NK600	本	4		
28	制服用 ベルト(ナイロン)	32-G-16(ワンタッチバックル付)	個	20		
29	保安ヘルメット	IMF-3(イマジョー IMF-3)	個	40		
30	アボロ作業帽	オールシーズンミズノ(磐田仕様)	個	30		
31	革手袋	BULLRESCUEAG-190G	双	25		
32	ケブラー手袋	PROHANDS KC-272	双	40		
33	ブルゾン型防寒衣	KURODARUMA54200	着	15		
34	編上靴・革製	シモンWS33静電消防	足	10		
35	活動服用名札(エンブクロスブルー台座、オレンジ文字刺繍)	磐田仕様 字体楷書体 【(横)イマジョー-N8358(縦6cm×横9cm)】	枚	30		
36	救急服用名札(グレー台座、黒文字刺繍)	磐田仕様 字体楷書体 【(横)イマジョー-N8358(縦6cm×横9cm)】	枚	10		
37	救助服用名札(オレンジ台座、黒文字刺繍)	磐田仕様 字体楷書体 【(横)イマジョー-N8358(縦6cm×横9cm)】	枚	3		
38	救助活動用手袋(火災活動使用不可)	PROHANDS JPK-300T	双	15		

合計金額(税抜)	0
----------	---

消防吏員夏冬活動服(上下)仕様書

磐田市消防本部

消防吏員夏冬活動服(上下)仕様書

1. 概要

この仕様は、磐田市における消防吏員用夏冬活動服(上下)について定める。

2. 総則

- (1)当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2)使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ(ヨリ)ムなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3)縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4)製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (5)証明書の提出については、落札者は納品時に使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷済証明書を提出すること。
- (6)納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7)この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (8)採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。(ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。)

3. 形式(品番)

(1)上衣

(長袖夏用(株)イマジョー TX9100FV)(半袖夏用(株)イマジョーTX9100FVH)
(冬用(株)イマジョー TX9000FV)

立体裁断及び立体縫製、台衿付きレギュラーカラー、前立て比翼付ファスナー、両胸雨蓋付きアウトポケット面ファスナー止め、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め(半袖袖口は3つ折り)、右胸階級台付き、左袖ペン差付、左胸手帳吊りループ、背ヨーク切り替え、裾シャツ型。

(2)下衣(夏用(株)イマジョー TX9101DF)(冬用(株)イマジョー TX9001DF)

立体裁断及び立体縫製、ワンタック、両大腿部カーゴポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット(右側雨ブタ付)、裾シングル始末、ウエスト全周囲ストレッチ機能

(3)名札

刺繍エンブレム 緑ヒートカット 刺繍糸オレンジ色 生地エンブクロスブルー

4. 主材料

夏用使用表生地材料(別紙参照)

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチロピカル S2418TS
イ 混紡率 : メタ系アラミド 73% パラ系アラミド 5%
 難燃ポリエステル 20% スパンデックス 2% 導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ NTB(指定色)
エ ストレッチ性:13%以上

夏用使用副生地材料(別紙参照)

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチロピカル NX4848S
イ 混紡率 : メタ系アラミド 94% パラ系アラミド 4%
 スパンデックス 2% 導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ オレンジ(指定色)
エ ストレッチ性:15%以上

冬用使用表生地材料(別紙参照)

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチツイル S2412TS
イ 混紡率 : メタ系アラミド 73% パラ系アラミド 5%
 難燃ポリエステル 20% スパンデックス 2%
 導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ NTB(指定色)
エ ストレッチ性:13%以上

冬用使用副生地材料(別紙参照)

ア 素 材 : 東レ 難燃ストレッチツイル NX4040S
イ 混紡率 : メタ系アラミド 94% パラ系アラミド 4%
 スパンデックス 2%
 導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ オレンジ(指定色)
エ ストレッチ性:13%以上

5. 縫製条件

ア. 針 数

3cm間で地縫いは12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

イ. 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

FATHデザインに基づく立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

6. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

衿には芯を入れ、表衿端に 12mm 幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。ステッチ糸は表裏に同系色でかける。台衿は表裏を縫い合わせ、台衿で上衿を挟み地縫いし表よりステッチで押さえる。

イ. 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前端より 6mm 幅ステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。下前端は見返しとの間にファスナーを挟み前端にコバステッチで下まで押さえる。ファスナーはムシ見せとする。前立てのファスナー横に面ファスナーを3ヶ所取り付け。左上前見返し側に面ファスナー(オス)、右下前に面ファスナー(メス)を付ける。

ウ. 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。左胸切り替え位置より約 15mm 上、ペン差穴に右端を合わせるように面ファスナーを縫い付ける。

エ. 肩章

表裏を縫い合わせ先三角形型釦止め、肩付け位置幅 50mm、長さ 150mm とし、周囲には 6mm ステッチをかける。肩先側は袖付け根に挟み、袖側より 40mm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は穴かがりの釦止めとする。

オ. 胸ポケット・雨蓋

雨蓋は左右の胸ヨーク切り替え線に挟み付ける。長さ 150mm、周囲にステッチをかける。裏面・長さの中心にマジックテープ 25mm × 35mm (オレンジオス) を付ける。左雨蓋の前中心側に約 25mm のペン刺し口を設ける。

ポケットは左右の胸ヨーク切り替え位置より 15mm 下にアウトポケット口幅 145mm、中心の深

さ 160mm にコバステッチで周囲を付ける。ポケットの中心に、インダーツを付け配色はオレンジとする。ポケット口に両開きファスナーを付け上部は雨蓋に挟み込み下部はポケット口に縫い付ける。またポケット口中心にマジックテープ 25mm×30mm を付ける。右胸ポケットの中にスマートフォン対応の内ポケットを付けること。

カ. 右胸台座、左胸台座

右胸切り替え位置より 15mm 上、フラップの長さの中心やや脇側に 25mm 幅×長さ 40mm の面ファスナー(メス)を取り付ける。

左胸切り替え位置より 15mm 上、フラップペン差口の左端に合わせるように指定サイズの面ファスナー(メス)を取り付ける。

キ. 背ヨーク

1 枚仕立てV型ヨークとし、配色生地を使用する。後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。切り替え線のヨーク側に 6mm 幅のステッチをかける。袖側にも 6mm 幅のステッチをかける。大きさは中心で約25cm(サイズにより変動)とする。背ヨーク中央に指定デザインのプリントを施す。

ク. 脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上には脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に 6mm 幅のステッチをかける。

ケ. 袖

長袖は2枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に2本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。(半袖は3つ折りとする)

コ. 後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へ 6mm 幅のステッチをかける。

サ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末とし 5mm 幅ステッチをかける。

シ. 片布・品質表示

左胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

ス. 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

セ. プリント

背ヨーク中央に指定デザインのプリントを施す。

(別紙参照)

(2)ズボン

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ 6mm 幅ステッチをかける。

ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

エ. 後ポケット

左右後に口幅 10mm、口の長さ 145mm の片玉縁ポケットを各 1 個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は門止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。右後ろポケットのみ雨ブタ付とする。

オ. カーゴポケット

両脇に雨ブタ付アコーディオンポケットを縫い付け、口巾 16cm、深さ 20cm とし、雨ブタは面ファスナーにて止める。

カ. 腰帯

マーベルト付きとし、幅約 40mm にストレッチ芯を貼り、ウエスト全周でストレッチ性を出す事とする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ. ベルトループ

ベルト通し幅 60mm、長さ 20mm のものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後ろ(ホームベース型)合計 7 本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ク. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

ケ. 裾

裾はシングル、オーバーロックのハーフ始末とする。

コ. 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm 幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ. 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ. サイズ表示・品質表示・片布

片布下端に挟む。片布は左脇ポケット袋布に縫着する。

7. 寸法表

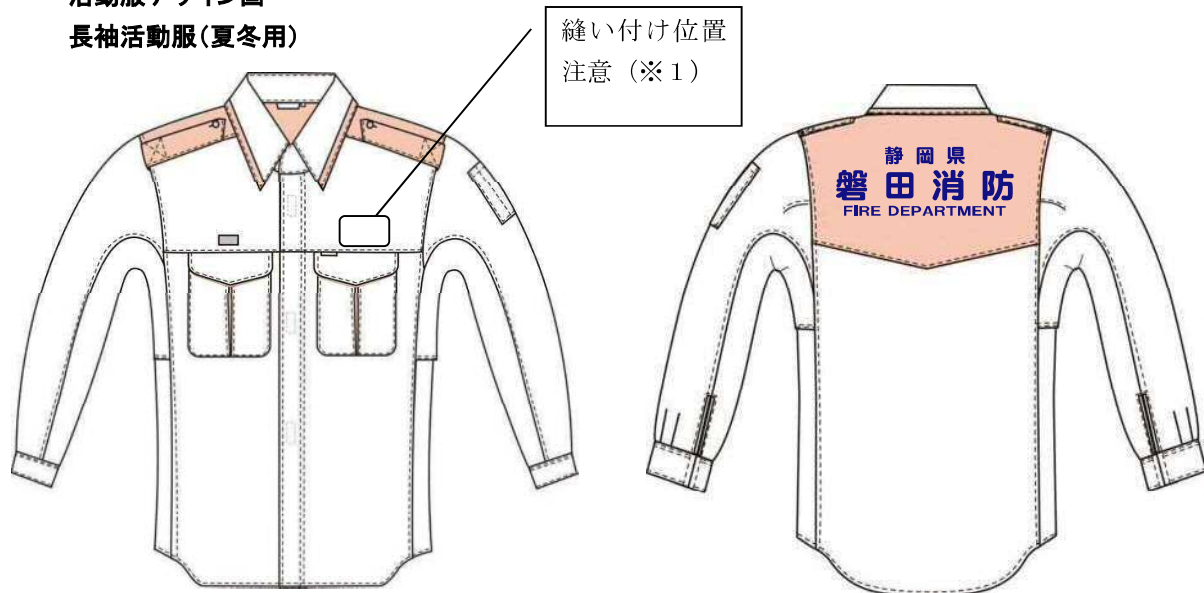
活動服上衣サイズ表

部位 サイズ	着 丈	肩 幅	胸 囲	胴 囲	衿 丈	ネック回り
AS	73	44	100	92	78	38
AM	75	46	105	97	81	39
AL	77	48	110	102	84	40
ALL	79	50	115	107	87	42
A3L	81	52	120	112	90	44
BS	73	48	110	107	78	42
BM	75	50	115	112	81	44
BL	77	52	120	117	84	46
BLL	79	54	125	122	87	48
B3L	81	56	130	127	90	50
B4L	81	58	140	137	91	52
B5L	81	60	150	147	92	54

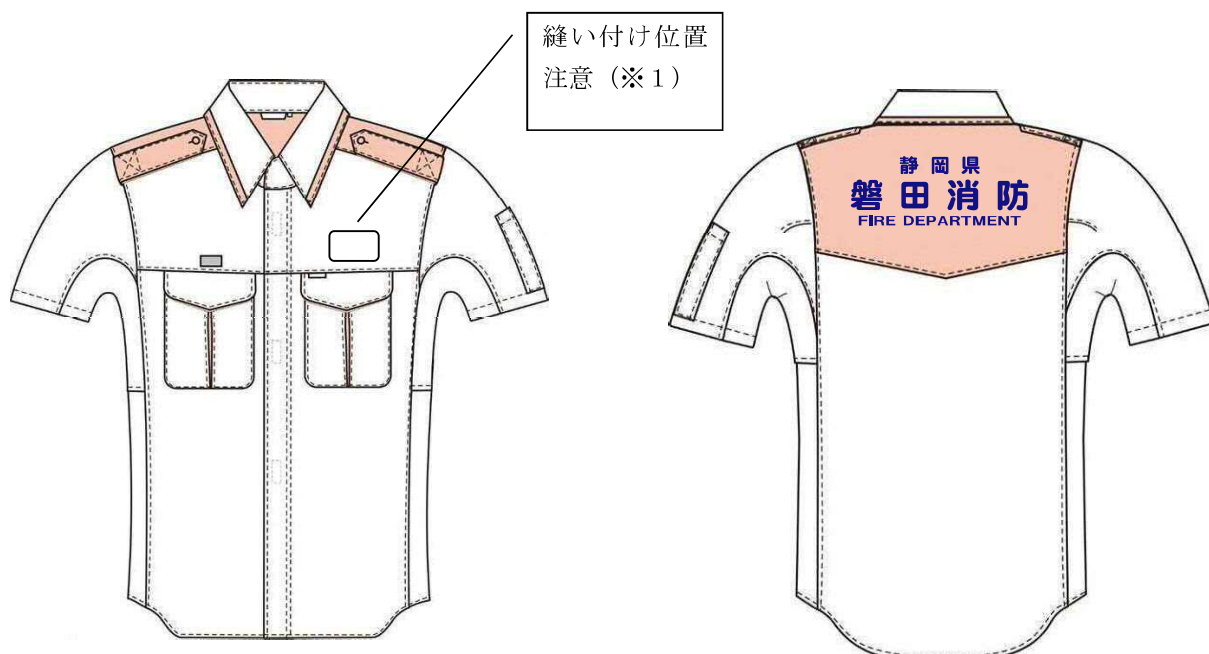
活動服下衣(ズボン)サイズ表

部 位 サ イ ズ	ウエスト	渡り幅	裾幅
A1	70	33.5	20.5
A2	73	33.5	20.5
A3	76	34.5	21
A4	79	34.5	21
A5	82	35	21.5
A6	85	35.5	21.5
A7	88	36.5	22
B00	82	36.5	23
B0	85	37	23
B1	88	38	23.5
B2	91	38	24
B3	95	38.5	24
B4	100	39	24
B5	105	40	25
B6	110	41	25

活動服デザイン画
 長袖活動服(夏冬用)

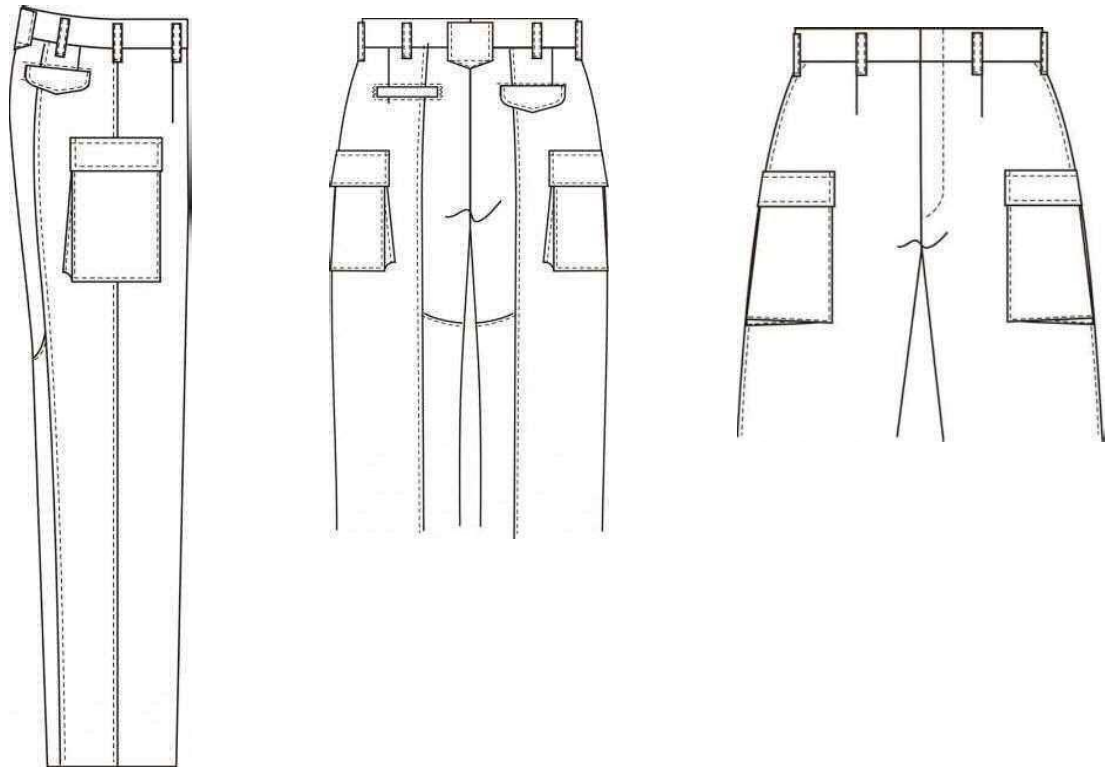


半袖活動服(夏用)



※1 名札の右端がペン刺しの左端にくるように取り付けること。

ズボン



名札仕様

磐田市消防本部
フルネーム

* 救命士は資格保持者の分は救急救命士といれること

磐田市消防本部
救急救命士
フルネーム

プリントデザイン画

340 mm × 134 mm



夏使用表生地材料(ブルー)

項 目	数 値		試 験 方 法
混紡率(%)	メタ系アラミド	73 %	JIS L 1030
	パラ系アラミド	5 %	
	難燃ポリエステル	20 %	
	スパンデックス	2 %	
使用糸番手	経 40/2		JIS L 1096
	緯 40/2		
組 織	平織(トロピカル)		JIS L 1096
密 度	経 68 本 以上		JIS L 1096
(本/2.54cm)	緯 52 本 以上		
重 量(g/m ²)	175 以上		JIS L 1096
引張強力(N)	経 1090 以上		JIS L 1096
	緯 820 以上		ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 44.1 以上		JIS L 1096
	緯 35.7 以上		ベンジユラム法
寸法変化率	経-0.5 % 以下		JIS L 1096
	緯-0.5 % 以下		
伸 長 率	13 % 以上		JIS L 1096 B 法
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	3 級 以上	—	JIS L 0842
洗濯	4~5 級	4~5 級	JIS L 0844 A2法
汗	4~5 級	4~5 級	JIS L 0848 A 法
摩擦堅牢度(乾)	—	4~5 級	JIS L 0849 II 形
ピリング	4 級		JIS L 1076 A 法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	1 秒		JIS L 1091 A4法
炭化距離	10 cm 以下		
LOI 値	28.0 以上		JIS K 7201 B1法
摩擦帯電電荷量	7μc/ m ² 未 満		JIS L 1094

夏使用副生地材料(オレンジ)

項 目	数 値		試 験 方 法
混紡率(%)	メタ系アラミド	9 4 %	J I S L 1 0 3 0
	パラ系アラミド	4 %	
	スパンデックス	2 %	
	導電性繊維混入		
使用糸番手	経 4 0 / 2	J I S L 1 0 9 6	
	緯 4 0 / 2		
組 織	1 / 1 平織(トロピカル)		J I S L 1 0 9 6
密 度	経 5 8 本 以上		J I S L 1 0 9 6
(本 / 2.54cm)	緯 5 5 本 以上		
重 量(g / m ²)	1 9 0 以上		J I S L 1 0 9 6
引張強力(N)	経 1 0 0 0 以上		J I S L 1 0 9 6
	緯 8 0 0 以上		ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 6 0 以上		J I S L 1 0 9 6
	緯 4 0 以上		ベンジユラム法
寸法変化率	経 - 1 . 0 % 以下		J I S L 1 0 9 6
	緯 - 1 . 0 % 以下		
伸 長 率	1 5 % 以上		J I S L 1 0 9 6 B 法
	変退色	汚 染	
耐光堅牢度	3 級 以上	—	J I S L 0 8 4 2
洗濯	4 - 5 級	4 - 5 級	J I S L 0 8 4 4 A2法
汗	4 - 5 級	4 - 5 級	J I S L 0 8 4 8 A 法
摩擦堅牢度(乾)	—	4 - 5 級	J I S L 0 8 4 9 II 形
ピリング	4 級		J I S L 1 0 7 6 A 法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	3 秒		J I S L 1 0 9 1 A4法
炭化距離	1 0 cm 以下		
L O I 値	2 6 . 0 以上		J I S K 7 2 0 1 B1法
摩擦帯電電荷量	7 4 0 / m ² 未 満		J I S L 1 0 9 4

冬使用表生地材料(ブルー)

項 目	数 値		試 験 方 法
混紡率(%)	メタ系アラミド	73 %	J I S L 1 0 3 0
	パラ系アラミド	5 %	
	難燃ポリエステル	20 %	
	スパンデックス	2 %	
使用糸番手	経	40/2	J I S L 1 0 9 6
	緯	40/2	
組 織	2/1綾織(ツイル)		J I S L 1 0 9 6
密 度 (本/2.54cm)	経	80 本 以上	J I S L 1 0 9 6
	緯	65 本 以上	
重 量(g/m ²)	200 以上		J I S L 1 0 9 6
引張強力(N)	経	1430 以上	J I S L 1 0 9 6
	緯	1100以上	ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経	55.2 以上	J I S L 1 0 9 6
	緯	40.2 以上	ベンジラム法
寸法変化率	経	0.5 % 以下	J I S L 1 0 9 6
	緯	0.5 % 以下	
伸 長 率	13 % 以上		J I S L 1 0 9 6 B 法
	変退色	汚 染	
耐光堅牢度	3 級 以上	—	J I S L 0 8 4 2
洗濯	4~5 級	4~5 級	J I S L 0 8 4 4 A2法
汗	4~5 級	4~5 級	J I S L 0 8 4 8 A 法
摩擦堅牢度(乾)	—	4~5 級	J I S L 0 8 4 9 II 形
ピリング	4 級		J I S L 1 0 7 6 A 法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	1 秒		J I S L 1 0 9 1 A4法
炭化距離	10 cm 以下		
L O I 値	28.0 以上		J I S K 7 2 0 1 B1法
摩擦帯電電荷量	7 μ C/m ² 未 満		J I S L 1 0 9 4

冬使用副生地材料(オレンジ)

項 目	数 値		試 験 方 法
混紡率(%)	メタ系アラミド	9 4 %	J I S L 1 0 3 0
	パラ系アラミド	4 %	
	スパンデックス	2 %	
	導電性繊維混入		
使用糸番手	経 4 0 / 2	J I S L 1 0 9 6	
	緯 4 0 / 2		
組 織	2 / 1 綾織(ツイル)		J I S L 1 0 9 6
密 度	経 9 0 本 以上		J I S L 1 0 9 6
(本 / 2.54cm)	緯 7 5 本 以上		
重 量(g / m ²)	2 3 0 以上		J I S L 1 0 9 6
引張強力(N)	経 1 3 0 0 以上		J I S L 1 0 9 6
	緯 1 0 5 0 以上		ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 7 4 以上		J I S L 1 0 9 6
	緯 5 7 以上		ベンジウム法
寸法変化率	経 - 0. 5 % 以下		J I S L 1 0 9 6
	緯 - 1. 5 % 以下		
伸 長 率	1 3 % 以上		J I S L 1 0 9 6 B 法
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	3 級 以上	—	J I S L 0 8 4 2
洗濯	4 級	4 級	J I S L 0 8 4 4 A2法
汗	4 級	4 級	J I S L 0 8 4 8 A 法
摩擦堅牢度(乾)	—	4 級	J I S L 0 8 4 9 II 形
ピリング	4 級		J I S L 1 0 7 6 A 法
残炎時間	0 秒		
余じん時間	3 秒		J I S L 1 0 9 1 A4法
炭化距離	1 0 cm 以下		
L O I 値	2 8. 0 以上		J I S K 7 2 0 1 B1法
接炎穴あき試験	6 0 秒 以上		炎の温度1 2 0 0 ° C
摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 未 満		J I S L 1 0 9 4

ベルト仕様書

- ・ 素 材 ナイロン100%（平二重織）
- ・ 帯 巾 約38mm
- ・ 帯 厚 約2.5mm
- ・ 帯 色 濃紺色、白色
- ・ 反射材 再帰性反射布約 1mm巾×6本織込
- ・ 帯 先 高周波 半丸カット
- ・ 鳩 目 5個×2列

素材：真鍮

メッキ：ニッケル

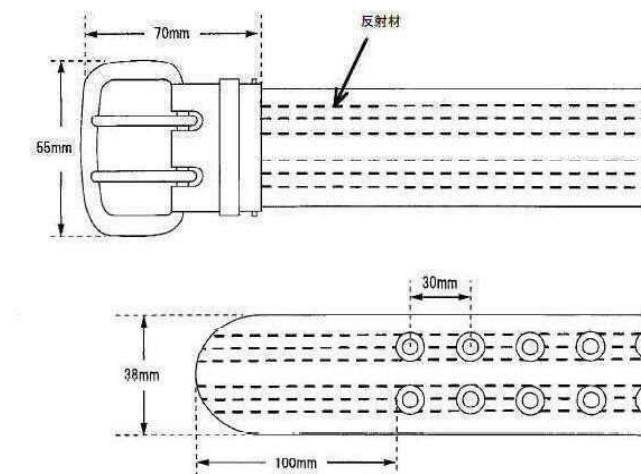
- ・ バックル 2本ピン式

素材：鉄

メッキ：ニッケル

- ・ 長さ 100cm ▪ 120cm

- ・ 絵図面



夏冬救急服(上下)仕様書

磐田市消防本部

夏冬救急服(上下)仕様書

1 概要

この仕様書は磐田市消防本部にて調達する消防吏員夏及び冬救急服
(以下「救急服」という)について必要な事項を定める。

2 品名

- ・夏長袖救急服 (品番(株)イマジョー TX9920)
- ・夏半袖救急服 (品番(株)イマジョー TX9920H)
- ・夏救急ズボン (品番(株)イマジョー TX9901)
- ・冬救急服 (品番(株)イマジョー TX9810)
- ・冬救急ズボン (品番(株)イマジョー TX9801)
- ・替衿 (品番(株)イマジョー Y119G)
- ・反射肩章 (品番(株)イマジョー K119)
- ・名札 (品番(株)イマジョー N8358)

3 条件

- (1) 当救急服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ(ヨリ)ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 針数は3cm間で地縫いは12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。
- (4) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (5) 製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、各署ごとに分けて納品すること。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (7) 採寸については、各人によりサイズを決定するものとする。
- (8) 本仕様書は当本部にて協議し決定したものであり応札者又は落札者の勝手な解釈で変更してはならないものとする。

4 提出物

(1)原反出荷済証明書

落札者は納品時に、本仕様書記載の生地紡績メーカーが発行した原反出荷済証明書を提出する事。

(2)見本品提出

落札業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を落札者の解釈にて勝手に変更してはならない。

5 デザイン

FATH(ファス)デザインに基づく立体構造のものとする。

6 制菌認証マーク

納品する製品の上衣と下衣には制菌製品である証明の認証マークを必ず取り付ける事。(下図参照)



7 納期

請負契約後、3ヶ月以内

8 納入場所

磐田市消防本部

9【夏用救急服 形式】

(1)上衣(長袖品番(株)イマジオーTX9920 半袖品番(株)イマジオーTX9920H)

立体縫製及び立体裁断、カッター衿型肩章付・前立ファスナー式・袖口ファスナー式・半袖・長袖・左右胸ポケット雨蓋付・前ヒヨク・グレー配色替衿、反射布付・左袖ペンライト入れ付き

(2)下衣(品番(株)イマジオー TX9901)

立体縫製及び立体裁断、ワンタック、両脇ポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット(左釦止め)、裾ルイス仕上げ

【冬用救急服形式】

(1) 上衣(品番(株)イマジオーTX9810)

立体縫製及び立体裁断、カッター衿型肩章付・前立ファスナー式・袖口ファスナー式・半袖・左右胸ポケット雨蓋付・前ヒヨク・グレー配色替衿、反射布付・左袖ペンライト入れ付き

(2) 下衣(品番(株)イマジオー TX9801)

立体縫製及び立体裁断、ワンタック、両脇ポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット(左釦止め)、裾ルイス仕上げ

(4)名札(品番)イマジョー N8358)

共生地 裏面ファスナー付 刺繍色ブルー

10 主材料(夏救急服)

上衣生地材料

ア 素材 : 東レ トリコット 21593M
ストレッチ・制菌加工(SEK 認証赤ラベル)・吸汗速乾・
透け防止・接触冷感
イ 混紡率 : ポリエステル 95% キュプラ 5%
導電性繊維使用
ウ 色 相 : C/＃ グレー(指定色)

ズボン生地材料

ア 素材 : 日本毛織(株) NN502 難燃トロピカル
イ 混紡率 : メタ系アラミド 50% パラ系アラミド 2%
難燃レーヨン 24% ポリエステル 24%
制電性繊維
ウ 色 相 : C/＃グレー(指定色)
エ LO1(難燃性):28 以上
オ 加工 : 制菌加工

主材料(冬救急服)

上衣生地材料

ア 素材 : 日本毛織(株) EW553 エコピッケ
イ 混紡率 : ウール 15%
再生ポリエステル 84.5%
帯電防止繊維 0.5%
ウ 色 相 : C/＃グレー(指定色)
エ 加工 : 強撥水・防汚加工

ズボン生地材料

ア 素材 : 日本毛織(株) NN501 難燃サキソニー
イ 混紡率 : メタ系アラミド 50% パラ系アラミド 2%
難燃レーヨン 24% ポリエステル 24%
制電性繊維
ウ 色 相 : C/＃グレー(指定色)
エ LO1(難燃性):28 以上
オ 加工 : 制菌加工

11 縫製要領【夏冬兼用】

(1)上衣

ア. 主衿

テロン芯を入れ、衿巾は中央で45mm(衿合巾35mm)衿先巾70mmとする。台衿裏に配色を施し、配色部に指定の間隔で替衿取付用のボタンを5ヶ縫い付ける。

イ. 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前端より 6mm 幅ステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。下前端は見返しとの間にファスナーを挟み前端にコバステッチで下まで押さえる。ファスナーはムシ見せとする。前立てのファスナー横に両面式の面ファスナーを3ヶ所取り付ける。左上前見返し側に面ファスナー(両面式)、右下前にマジックテープ(両面式)を付ける。

ウ. 胸ポケット

胸ポケットは左右2ヶで雨ブタ付とする。雨ブタには所定のテロン芯を入れる。雨ブタは巾中央で高さ60mm(端部で高さ45mm) 横140mm、胸ポケットは横巾135mm、深さ145mm、インダーツとする。雨蓋は面ファスナー止め(両面式)とする。

エ. 階級章台

下前身頃雨ブタ付根、中央上部15mm上にタテ25mmヨコ40mmの面ファスナー(メス)を縫い付ける。

オ. 脇

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続かし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上し脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に 6mm 幅のステッチをかける。

カ. 袖

2枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に2本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きはファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。また、カフス裏には配色生地を使用すること。

キ. 肩章

巾は 45mmとし、端を袖付けの縫目に縫込み、肩章の先は衿付根部より 2.0cm 下がった位置とする。

ク. ペン刺し

左胸ポケット雨ブタの中心部から 35mm内側に入った所に巾 25mmのペン差し

をつけ、左ポケットにも内側より口巾 25mmのペンセクションを設ける。

ケ. ペンライト入れ

左袖に袖付けより90mm下がった位置に巾 40mm、長さ 150mmのペンライト差しを縫い付ける。

コ. 背ヨーク

1 枚仕立てストレートヨークとし、後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。切り替え線のヨーク側に 6mm 幅のステッチをかける。袖側にも 6mm 幅のステッチをかける。大きさは中心で約 18cm(サイズにより変動)とする。

サ. 片布・品質表示・制菌認証マーク・警告表示

片布を上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示・制菌認証マークを縫い付ける。警告表示を下前胸ポケット裏面中央に縫付ける。

シ. 衿吊り・サイズネーム

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

ス. 裾折り返し

裾は三ツ巻き縫いとする。

セ. プリント 名札台

背ヨーク中央に指定デザインのプリントを施す。(別紙参照)

左胸切り替え位置より 15mm 上、フラップペン差口の左端に合わせるように指定サイズの面ファスナー(メス)を取り付ける。

ソ. 付属(替衿、肩章)

替衿は指定のブロードにて衿台巾 35mm、衿先巾 75mmの替衿を作成し、シャツ本体の衿台内側に直径 10mmの4ツ穴ポリ釦を5ヶ所付け、替衿台衿下部にはステッチをかける。さらに、替衿台衿部分は汚れ防止の為にグレーの配色を施す。さらに替衿が付けられる様に衿台内側の釦と間隔を合わせネムリ穴をかがる。反射布は表生地指定のトランスファーフィルムを接着し、巾 55mm、長さ 100mmの筒状の肩章反射布を作成する。(付属は1着につき1セット取り付け)

(2) 下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側(外向き)に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ 160mmとし、口の上下端に門止めをする。口にはコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをか

ける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの

袋布に小袋を縫い付ける。

エ. 後

左右のウエストに各1本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ 6mm 幅ステッチをかける。ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

オ. 後ポケット

左右後に口幅 10mm、口の長さ 145mm の片玉縁ポケットを各1個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は閉止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ. 腰帯

マーベルト付きとする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ. ベルトループ

ベルト通し幅 60mm、長さ 20mm のものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後2カ所、合計8本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ク. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。股破れのないよう特別な処置を施す事。

ケ. 裾

裾はシングル、オーバーロックのハーフ始末とする。

コ. 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm 幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ. 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ. サイズ表示・品質表示は、片布下端に挟む。

ス. 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

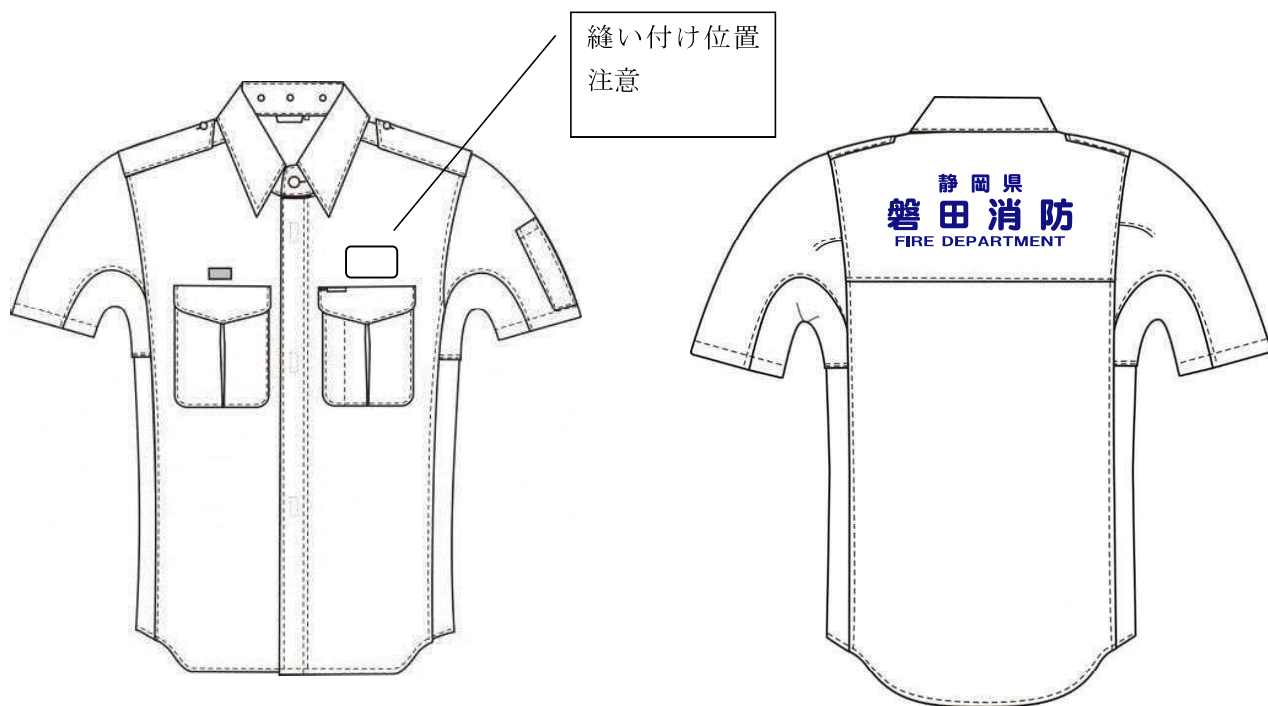
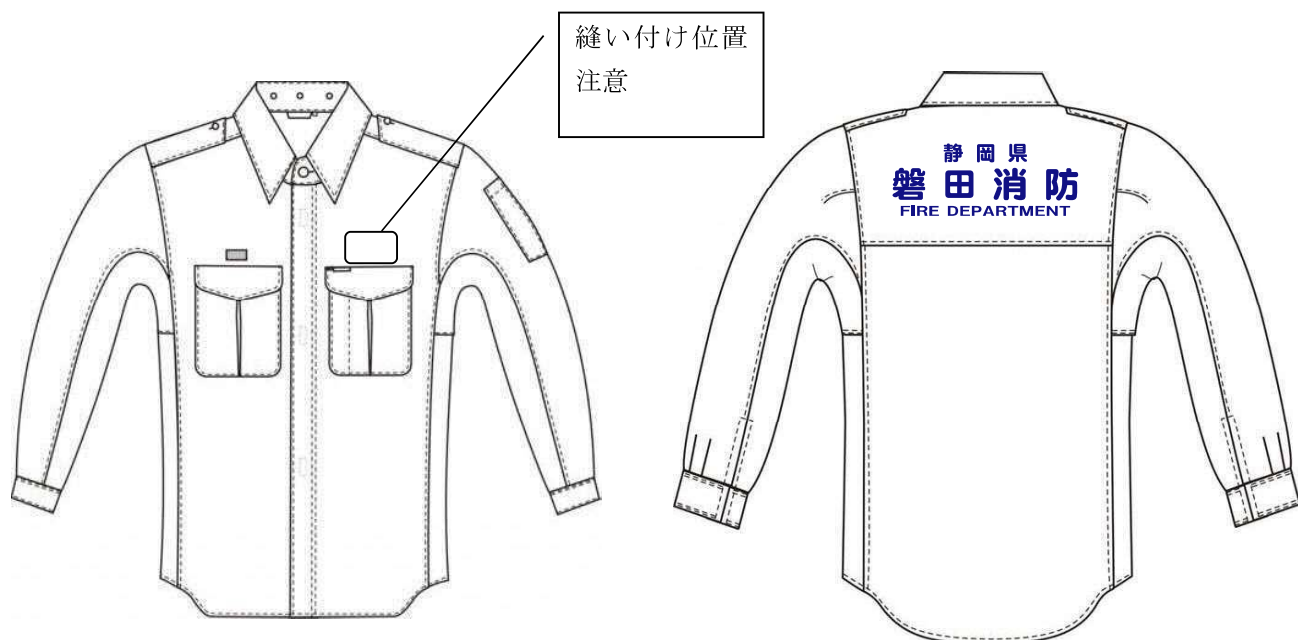
上衣サイズ表【夏冬兼用】

部位 サイズ	着丈	胸囲	胴囲	肩幅	長袖衿丈	半袖衿丈	ネック
00 号	73	100	92	44	75	47	39
0 号	75	105	97	46	78	49	39
1 号	77	110	102	48	81	50	40
2 号	79	115	107	50	84	52	41
3 号	81	120	112	52	87	54	42
4 号	75	115	112	50	78	52	43
5 号	77	120	117	52	81	53	45
6 号	79	125	122	54	84	55	46
7 号	81	130	127	56	87	56	48

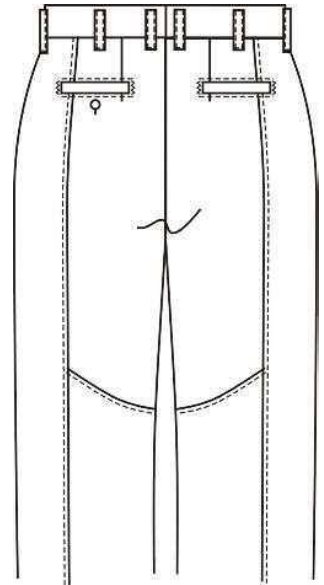
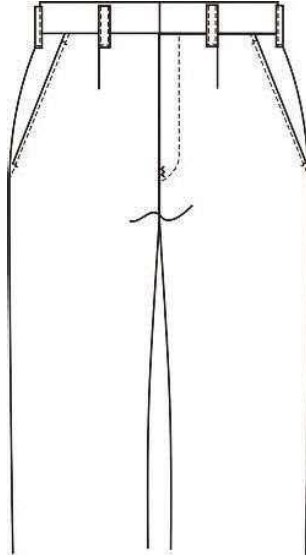
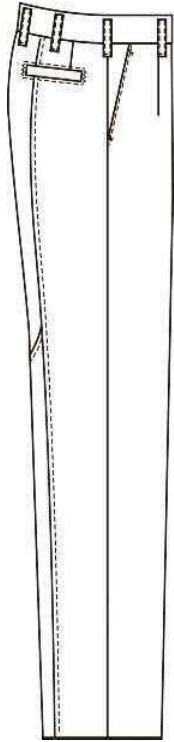
下衣サイズ表【夏冬兼用】

部 位 サ イ ズ	ウエスト	渡り幅	裾幅
A1	70	33.5	20.5
A2	73	33.5	20.5
A3	76	34.5	21
A4	79	34.5	21
A5	82	35	21.5
A6	85	35.5	21.5
A7	88	36.5	22
B00	82	36.5	23
B0	85	37	23
B1	88	38	23.5
B2	91	38	24
B3	95	38.5	24
B4	100	39	24
B5	105	40	25
B6	110	41	25

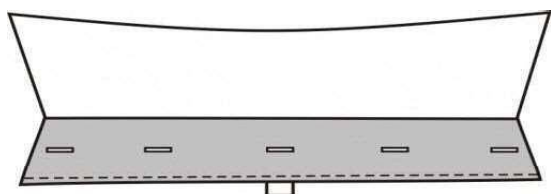
絵図面



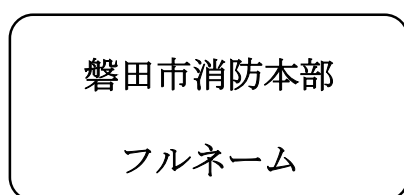
ズボン絵図面



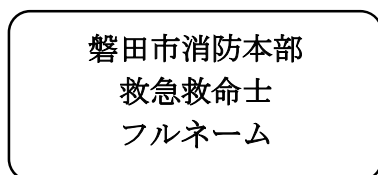
替衿、反射肩章絵図面



名札仕様



*救命士は資格保持者の分は救急救命士といれること



背中プリント

340mm×134mm

静岡県
磐田消防
FIRE DEPARTMENT

救助服仕様書

磐田市消防本部

救助服(上下)仕様書

1. 概要

この仕様は、磐田市における消防吏員用救助服(上下)について定める。

2. 総則

- (1)当救助服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2)使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ(ヨリ)ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3)縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4)製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (5)証明書の提出については、落札者は納品時に使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷済証明書を提出すること。
- (6)納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7)この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (8)採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。(ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。)

3. 型式(品番)

(1)上衣((株)イマジョー NX4040T0)

前立てファスナー(衿先ジップアップ)、脇下ベンチレーション、左右胸両玉縁ファスナー付き
ポケット、右胸階級台マジック付き、肘刺し子付き、
袖口ファスナー水かき付き、前後身頃切り替え部・肩部刺し子加工、裾シャツ式

(2)ズボン((株)イマジョーNX4040P0)

前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドファスナー付アウトポケット
膝・脇・後身・股下部刺し子加工

(3)名札

刺繍エンブレム 緑ヒートカット 刺繍糸黒色 生地エンブクロスオレンジ

4. 表生地

(1)種類

東レ NX4040S (C/#オレンジ)

難燃ストレッチツイル

(2)混紡率

メタ系アラミド(ノーメックス) 94%

パラ系アラミド(ケブラー) 4%

スパンデックス 2%

導電性繊維混入

(3)LO1(難燃性) 30 以上

(4)ストレッチ性 14%以上

5. 条件

(1)針数は30mm間に飾り・刺し共に10針以上とすること。

(2)縫製糸は生地と同色とすること。

(3)主生地に於いて必ずストレッチ性が14%以上のものを使用する事。

(4)FATHデザインに基づく立体的裁断及立体縫製で作成する事。

(5)縫製の糸調子は上下共ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

その他不明な点については、消防本部と協議すること。

6. 縫製要領

(1)上衣

ア. 衿

裏衿腰部分にステッチを7本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。

衿裏に共生地で当て布を縫い付ける。表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。

衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。裏衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ. 前身頃

切り替え部分に表地を2枚重ねし、刺し子加工する。

前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。

表面は突合せとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。肩章は縫い止め、先端は釦止めとする。

ウ. 胸ポケット

両胸切り替えにポケットを取り付ける。ファスナーは閉じて内側に取り付ける。

左胸ポケット内部脇側に40mm×50mmのペン差し用ループ(2本用)を付ける。

エ. 右胸台座・左胸台座・左袖台座

右胸ポケット位置より約10mm上部に25mm幅×長さ40mmの階級章マジック台を取り付ける。

左胸ポケット位置より約10mm上部に指定の名札用マジック台を縫い付ける。

左袖肩切り替えから20mm下に指定のエンブレム台を縫い付ける。

オ. 後身頃

後身頃は肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。衿付位置から約250mmまで表地を2枚重ねし、ストレートヨーク型として刺し子加工する。

カ. 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール(通気口)を設ける。脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。前身頃と前袖を縫い合わせ、脇身頃側にダブルステッチをかける。

後身頃と後袖を縫い合わせ、後身頃・袖側にダブルステッチをかける。

キ. 袖

肩ヨークの続き袖は、肩の部分に表地2枚重ねし、刺し子加工を施し肩先端はダブルステッチで袖に縫い止める。

ヨーク前側は、前身頃・前袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

後袖は肘上部辺りで切り替え2枚ハギとし、ダブルステッチをかける。

ヨーク後側は、後身頃・後袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

腕の長さにより肘の位置が変わるため、それに合わせるため標準サイズ、±3cmの3種類を設けること。

ク. 肘刺し子

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

ケ. 袖口

後袖の袖口に両玉縁でファスナー長さ約170mmを付ける。

カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。

ファスナー開き部分の内側(ファスナー下)に表地で水カキを付ける。

水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。ファスナーはロックタイプとする。

コ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

サ. 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

シ. 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

ス. 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

セ. プリント

背中ヨーク中央部に消防本部指定のデザインの紺色でプリントを施す。

※消防本部指定のデザインについては、別紙の定めるとおりとする。

(2)ズボン

ア. 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2ヶ所切り替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約40mm幅と6mm幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 膝当て

表地2枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。

エ. 内股

前ファスナーから前切り替え線の膝位置までの上部に刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

オ. 後

後身はウエストより裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。刺し子加工を施した表地を重ね、ダブルステッチで押さえる。後尻部分の切り替えに刺し子加工をした表地を膝裏辺りまで重ね、ダブルステッチで押さえる。

カ. ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。

キ. ベルトループ

ベルトループ幅約90mm、通し幅約60mm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約 1.0cm 下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止める。後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。上端は約 1.0cm 下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

ク. アウトポケット

左右脇アウトポケットの幅190mm、長さ250mm、左右にマチ布を付ける。ポケット口はファスナー開き170mmの突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。ただしハーネスを付けた際にでも使用できるように、ポケット口は斜めとし、ファスナーは閉じて尻側とする。ポケット付け位置も上記を考慮しポケット底部を膝横のハギに合わせる。

ケ. 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

コ. 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

サ. 裾

裾はシングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、内周に絞り紐を付け、かかとへの引っ掛けゴム付きとする。

シ. 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む

ス. 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

7. 寸法表

救助服上衣サイズ表

(出来上がり寸法 単位:cm)

部位 サイズ	着 丈	胸 囲	衿 丈
SS	73	97	77
S	73	101	79
M	75	105	81
L	77	111	84
LL	80	117	86
3L	81	123	89
4L	84	129	91
5L	86	135	94

救助服下衣(ズボン)サイズ表

出来上がり寸法 単位:cm)

部 位 サ イ ズ	ウエスト	ヒ ッ プ	わたり幅	股 下
SS	71	96	32	79
S	75	100	33	79
M	79	104	34	79
L	83	108	36	79
LL	87	112	37	79
3L	91	116	38	79
4L	95	120	40	79
5L	99	124	41	79



ワッペン台（形は契約
後協議するものとする）

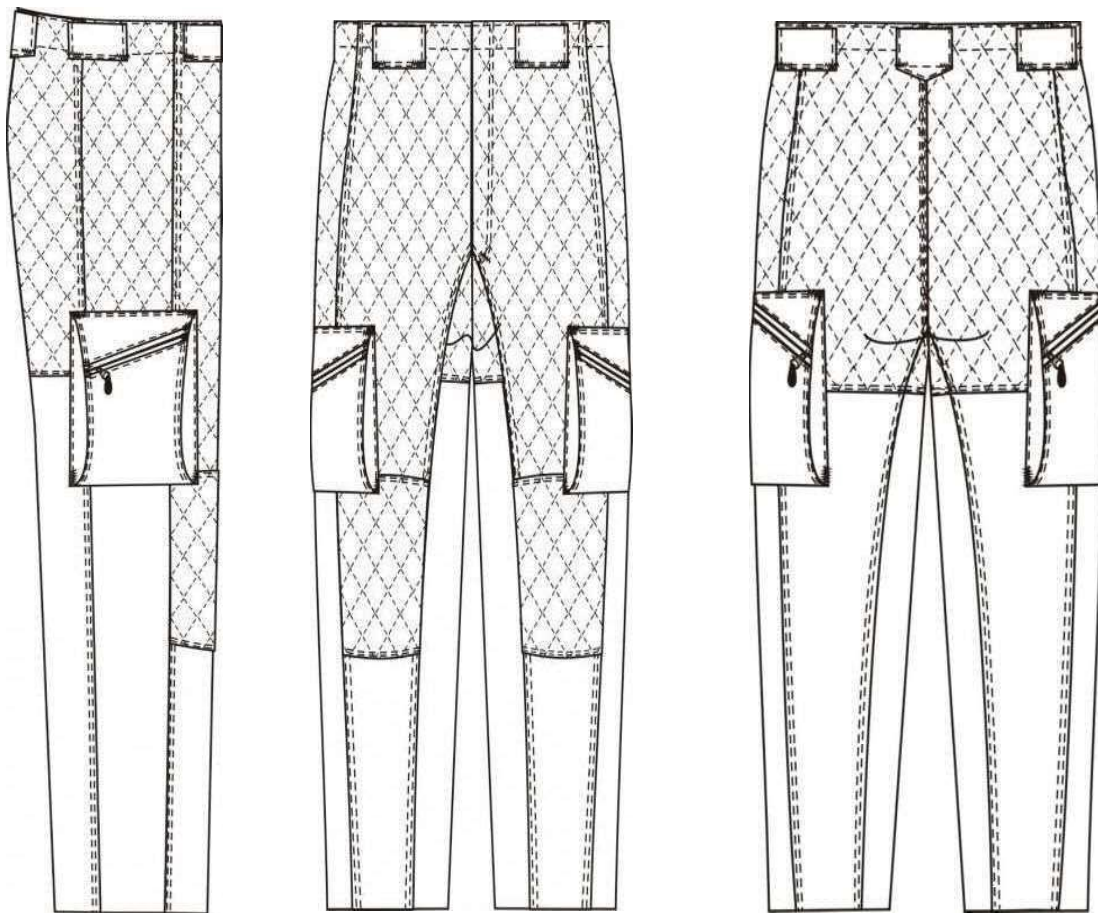
左ポケット内に手帳吊
りループを縫いつける



名札仕様

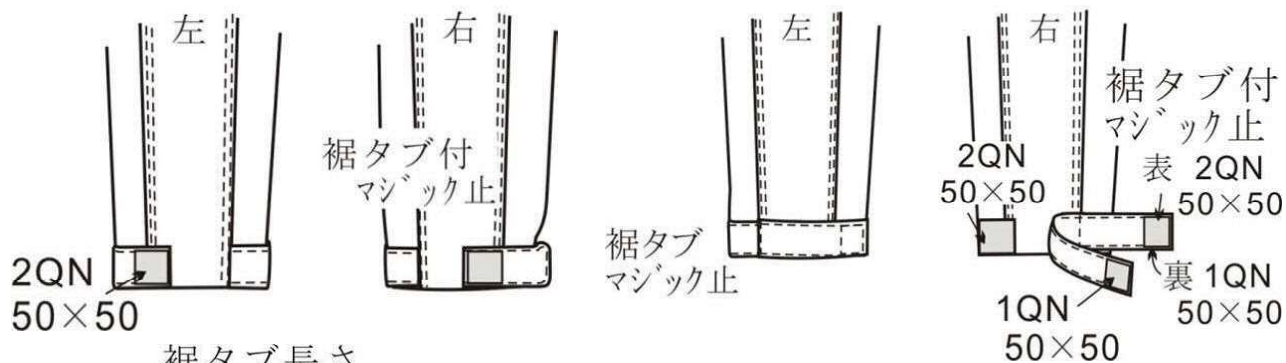
磐田市消防本部
特別救助隊
フルネーム

横 9 センチ×縦 6 センチ
字体 楷書体
オレンジ台座に黒文字刺繍

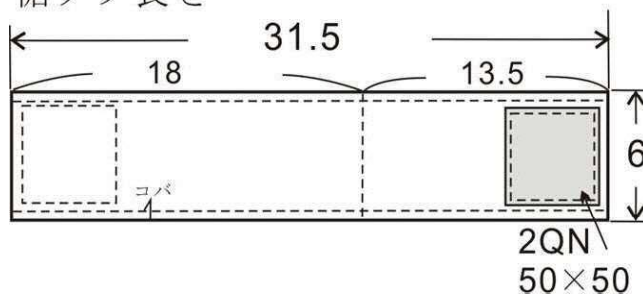


後裾仕様

前裾仕様



裾タブ長さ



プリントデザイン画

静岡県
磐田消防
FIRE DEPARTMENT

男性用夏制帽仕様書

磐田市消防本部

1 仕様

(1) 生地一般

- ア 紡績糸は、糸むら、番手むら、撚りむら等の目立たない品質のものであること。
- イ 織り上がりは、均整で、織りきず、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものであること

(2) 表生地

UEMS 52 ブルー

Wメッシュ # 19 紺 (マチ部)

2. 形状及び寸法

円形、前ひさし、あごひも及び耳章付であること

3. 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫合は、縫い目の飛び及びはずれがない優良なものであること
- イ 縫い代は、各部に適した十分なものであること
- ウ 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりが目立たないものであること
- エ 各部の合標及び曲線縫いは、縫い合わせにずれがないものであること

(2) 天井部

- ア 天井裏は、円形に裁断したポリエステルポケットメッシュを表布に止めてあること
- イ 透明ビニールの氏名札入れが、ポケットメッシュ中央に縫い付けてあること

(3) まち部

- ア まち縫いは、4枚はぎであること
- イ 縫い目は、片返ししてあり、飾りミシンが施してあること

(4) 周章

輪状であること
なお縫い目は、片返しであること

(5) 帽子き章

き章は、銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱ようし、全面中央に取付けしてあること

(6) 腰枠

腰枠は、ポリエステル枠とし、すべり革には、通風口を設けてあること

(7) ひさし

前面中央にひさしが取付けてあること

- (8) 張り出ししん
形を整えて取付けてあること
- (9) あごひも
耳章で止めてあること

男性用冬制帽仕様書

磐田市消防本部

1 仕様

(1) 生地一般

- ア 紡績糸は、糸むら、番手むら、撚りむら等の目立たない品質のものであること。
- イ 織り上がりは、均整で、織りきず、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものであること

(2) 表生地

NK600 紺

2. 形状及び寸法

円形、前ひさし、あごひも及び耳章付であること

3. 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫合は、縫い目の飛び及びはずれがない優良なものであること
- イ 縫い代は、各部に適した十分なものであること
- ウ 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりが目立たないものであること
- エ 各部の合標及び曲線縫いは、縫い合わせにずれがないものであること

(2) 天井部

- ア 天井裏は、円形に裁断したポリエステルポケットメッシュを表布に止めてあること
- イ 透明ビニールの氏名札入れが、ポケットメッシュ中央に縫い付けてあること
- ウ 天井の両側は、通風口として各2個のハト目を取付けてあること

(3) まち部

- ア まち縫いは、4枚はぎであること
- イ 縫い目は、片返ししてあり、飾りミシンが施してあること

(4) 周章

輪状であること
なお縫い目は、片返しであること

(5) 帽子き章

き章は、銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱ようし、全面中央に取付けしてあること

(6) 腰枠

腰枠は、ポリエステル枠とし、すべり革には、通風口を設けてあること

(7) ひさし

前面中央にひさしが取付けてあること

- (8) 張り出ししん
形を整えて取付けてあること
- (9) あごひも
耳章で止めてあること

女性用夏制帽仕様書

磐田市消防本部

1 仕様

(1) 生地一般

- ア 紡績糸は、糸むら、番手むら、撚りむら等の目立たない品質のものであること。
- イ 織り上がりは、均整で、織りきず、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものであること

(2) 表生地

UEMS 5 2 ブルー

2. 形状及び寸法

ハイバック型及び帽子き章付であること

3. 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫合は、縫い目の飛び及びはずれがない優良なものであること
- イ 縫い代は、各部に適した十分なものであること
- ウ 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりが目立たないものであること
- エ 各部の合標及び曲線縫いは、縫い合わせにずれがないものであること

(2) 標部

- ア 型崩れ防止が施してあること
- イ 帽体頭部の腰の位置に幅 3. 7 c m のグログランリボンが取り付けられていること
- ウ 帽子き章が前面中央に取付けてあること

(3) 裏部

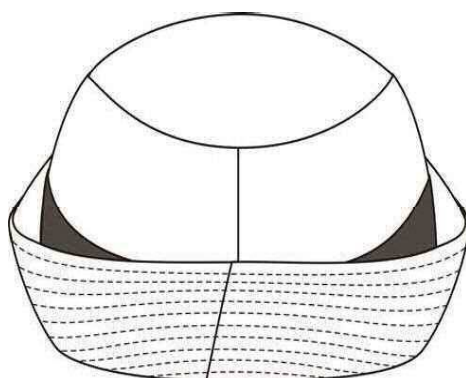
- ア ひさし裏に型崩れ防止の生地が取付けてあること
- イ すべりに頭内汗止めが取付けてあること
- ウ コーム（金ぐし）が左右各 1 個取付けてあること
- エ 氏名札が裏地に取付けてあること

(4) 帽子き章

き章は、銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱ようし、全面中央に取付けしてあること

サイズ表＜目安＞

LL	60 cm
L	58 cm
M	56 cm
S	54 cm



女性用冬制帽仕様書

磐田市消防本部

1 仕様

(1) 生地一般

- ア 紡績糸は、糸むら、番手むら、撚りむら等の目立たない品質のものであること。
- イ 織り上がりは、均整で、織りきず、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものであること

(2) 表生地

NK600 紺

2. 形状及び寸法

ハイバック型及び帽子き章付であること

3. 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫合は、縫い目の飛び及びはずれがない優良なものであること
- イ 縫い代は、各部に適した十分なものであること
- ウ 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりが目立たないものであること
- エ 各部の合標及び曲線縫いは、縫い合わせにずれがないものであること

(2) 標部

- ア 型崩れ防止が施してあること
- イ 帽体頭部の腰の位置に幅3.7cmのグログランリボンが取り付けであること
- ウ 帽子き章が前面中央に取付けてあること

(3) 裏部

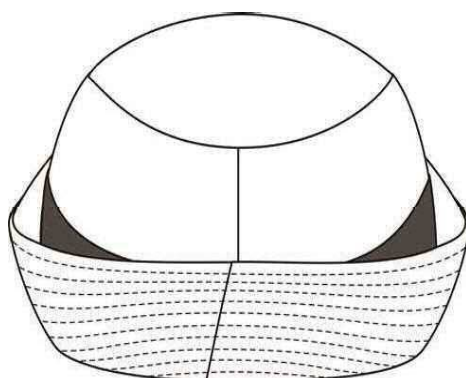
- ア ひさし裏に型崩れ防止の生地が取付けてあること
- イ すべりに頭内汗止めが取付けてあること
- ウ コーム（金ぐし）が左右各1個取付けてあること
- エ 氏名札が裏地に取付けてあること

(4) 帽子き章

き章は、銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱ようし、全面中央に取付けしてあること

4. サイズ表<目安>

LL	60 cm
L	58 cm
M	56 cm
S	54 cm



消防吏員冬制服仕様書（男性用）

磐田市消防本部

消防吏員冬制服仕様書

この仕様書は磐田市消防本部にて調達する冬制服について定める。

- 1、証明書の提出 落札業者は納品時に表生地について、紡績メーカーが発行する原反出荷済証明書を提出する事。
- 2、試作品の提出 調製にあたり、試作品を提出し係員の承認を受けたのち縫製をなす事。
尚、縫製上の疑義を生じた場合は速やかに係員と打合せの上、善処する事。
- 3、検収 検収は消防本部係員が立合の上で行ない、場所は指定場所とする。
- 4、納品の保証 検収後であっても生地、縫製上等による不良品は供給業者が全て責任を持って無償で修理又は交換する。
- 5、裁断及び縫製等
イ、裁断及び縫製仕上げにあたり洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずる。
ロ、針数は地縫い、飾り縫い共、1 cm 間 5 針以上とする。
ハ、釦穴はハトメ機械門穴とする。
ニ、縫い糸は 表縫い糸（絹又はテトロン糸 5 0 番） 穴カガリ糸（絹又はテトロン糸） ボタン付糸（8 番）
地縫（綿 5 0 番）
ホ、裁断各部分共、逆毛裁、襟以外の個所の斜裁及びハギは認めない。
ヘ、仕上は糸くずを取り丁寧にプレスすること。
ト、ミシンの調子は上糸、下糸共『ツレタルミ』のない事。
- 6、その他 供給業者は、本仕様に明記されてない事項についても当然必要と認められる場合は紳士既制服の縫製による事。
- 7、材料
イ、表地

- ① 規格 ニッケ#LS440 C/# E トップ染サージ。
 ② 品質 毛99、5% 制電性繊維0、5%CL（静電防止）

スーパーセルボニック（強撥水・防汚）加工

- ③ 糸番手 径2/48 × 緯2/48

ロ、裏地	東レ #303 C/# 黒 静電防止・抗菌・防臭加工
ハ、袋地	4号スレキ綿100%
ニ、フロント芯	特殊接着芯 ハスケル7661B 増芯毛芯
ホ、襟芯	ハスケル768
ヘ、袖裏	AP16500
ト、腰裏	T230 カラー紺 マーベルト ラッセル入
チ、ズボン袋地	T230 カラー紺
リ、膝当地	人絹布
ヌ、付属釦	前釦消防章金属製釦 径20mm 内釦樹脂四ッ穴 タライ釦 径14mm
ル、前立	YKK製ファスナー
オ、肩綿	綿又は弾力性のある合繊

8、上衣仕様

イ、型式	3ツ掛、6ツ釦、ダブル型、背拔裏・裁腹付仕立、衿ステッチ入り
ロ、飾りミシン	5mm ミシン飾り
ハ、衿刺し	下衿は腰刺し7本以上、上衿は山刺し12本とし、衿腰は30mm 衿の返りは40mm とする。
ニ、衿	衿付は縫い倒しミシン割り縫いとする。
ホ、衿型	剣衿（図面通り）とする。
ヘ、パッチ穴	かからない事。
ト、ポケット	

① 胸ポケット

- ア、左胸部に1ヶ付ける。
 イ、左胸部内側身返しよりに『手帳吊ループ』をつける。
 ウ、口布の巾25mm 口巾は115mm 深さ140mm。
 エ、ポケット位置、裏に力布の巾を広く当て地縫する。

② 腰ポケット

- ア、両玉縁、雨蓋付とし、周囲に5mmの飾りステッチをかけ

る。

イ、左右腰部にそれぞれ1ヶを付ける（別図の通り）。

ウ、雨蓋の巾は55mmとし、ポケット口巾は150mm 深さ200mmとする。

エ、ポケット両端に機械閉止めとする。

③ 内ポケット

ア、左右内側胸部にそれぞれ1ヶを付ける（別図の通り）。

イ、両玉縁、三角雨蓋付14mmハトメ穴とする。

ウ、口巾は140mm 深さ180mm。

チ、裏	背抜裏仕立とする。
リ、ダーツ	胸1本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割り縫い、裏ダーツは片倒しとする。
ヌ、肩縫い	表は割り縫い、裏は片倒しとし、肩綿を入れる。
ル、袖付け	袖裏はまつり縫い又はミシン縫いとする。
オ、袖	割り縫い、上袖は130mmの袖芯を入れる。袖蛇腹は袖口より110mmの位置に付ける（別図通り）。袖周章用金銀線は蛇腹の袖口側に間隔なしで付ける。
ワ、裾	フラシ奥縫いミシン縫い可、表地折込は40mm以上とする。
カ、階級章止め	右側胸部に、階級章の台座マジックテープ4cm×2.5cm付ける。
ヨ、釦ホール	ハトメ機械穴とする。
タ、衿吊り	衿腰中央に付ける。
レ、品質表示	片布の下に付ける。

9、下衣仕様

イ、型式	長ズボン、裾シングル型、オビ付（巾35mm）右後方ポケット。 アジャスター付
ロ、前タック	左右各1本を外向に付ける深さ10mm。
ハ、腰裏	スベリ止め付きマーベルトを付ける。
ニ、ループ	上端より10mm 下に巾10mm 長さ45mmのループ8本を付ける。
ホ、脇縫い	割り縫いとする。
ヘ、脇ポケット	脇縫い前身上部で巾50mm 上端より70mmの位置で150mmのポケット口巾として、機械閉をポケット上部下部に行く。 ポケットの深さは下部より120mm以上とする、ポケット巾は下部の位置で150mmとする、上部の位置にて白布の巾80mm以上を袋地として縫い付ける。 袋の裾は縫い返し飾り

6 mm にて縫う

ト、内ポケット 右側内側に口巾 8 0 mm 丈 1 5 0 mm 下部巾 7 0 mm のポケットを付ける。

チ、尻ポケット

ア、左右後身上端より 80mm の位置にポケットを付ける。

イ、袋地はポケット位置に張り必ず腰かざり上部にかかる様に縫い付ける。

ウ、口巾 1 4 0 mm で片玉縁にて雨蓋付とし、雨蓋にハトメ穴ボタンホールをかける。

リ、タック 尻ポケット巾の中に 2 条のタックをとる。

ヌ、尻縫い 割り縫いとし二重縫いにすると共に上部で 2 0 mm 以上の縫代とする。

ル、前立天狗

ア、前立はファスナー開きとし、持出し付きとする。

イ、上部にカギホックを付ける。

ウ、天狗に芯地布を付ける。

オ、棒シック 小又門より後身に 7 0 mm 以上のシックを浮かし付ける。

ワ、ひざ当 両端がほつれない様縫い付ける。

カ、裾 折り返しは 5 0 mm 以上とし巾 2 0 mm 丈 1 5 0 mm 以上の靴ズレをつける。

ヨ、片布 右側脇ポケット上部中央に付ける。

タ、品質表示 片布の下中央に付ける。

サイズ表

上 衣

(実寸) (単位：c m)

	着丈	肩巾	袖丈	胸囲 (上り)	中胴 (上り)
A 2	6 9	4 5	5 5	9 8	9 2
A 3	7 1	4 6	5 6	1 0 3	9 6
A 4	7 4	4 7	5 8	1 0 7	1 0 0
A 5	7 6	4 8	6 0	1 1 2	1 0 4
A 6	7 8	5 0	6 2	1 1 7	1 1 0
B 2	7 0	4 7	5 5	1 1 0	1 0 5
B 3	7 2	4 9	5 6	1 1 5	1 1 2
B 4	7 5	5 0	5 8	1 2 0	1 1 6
B 5	7 8	5 1	6 0	1 2 5	1 2 0
C 4	7 4	4 5	6 0	1 0 2	9 2
A B 4	7 3	4 7	5 7	1 1 2	1 0 7

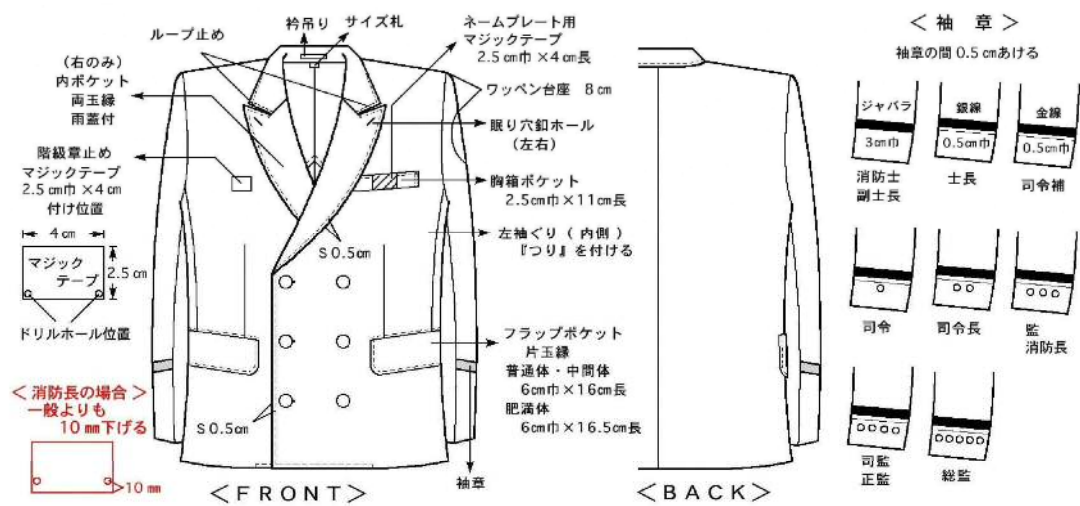
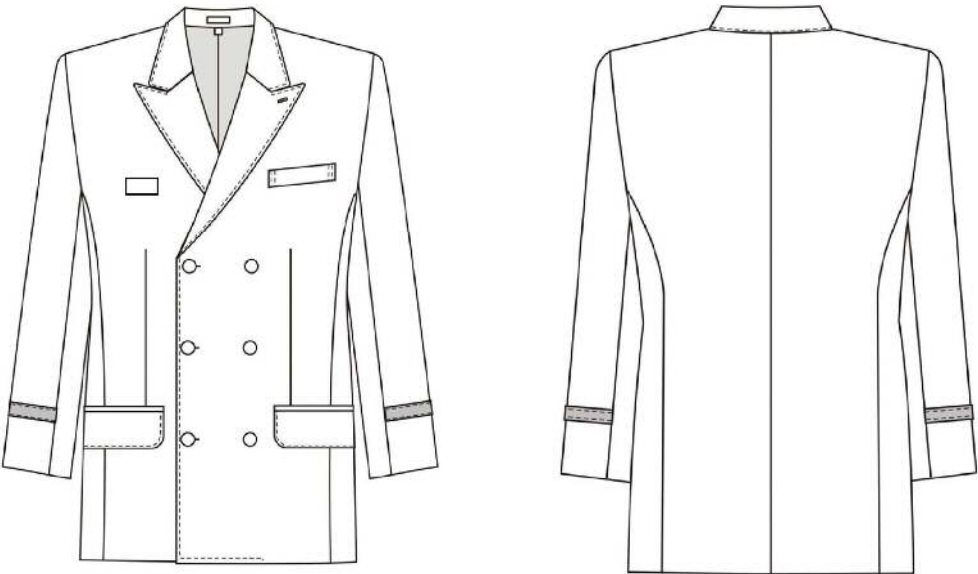
※中胴 (上り) は第2 釦位置にて

ズ ボ ン

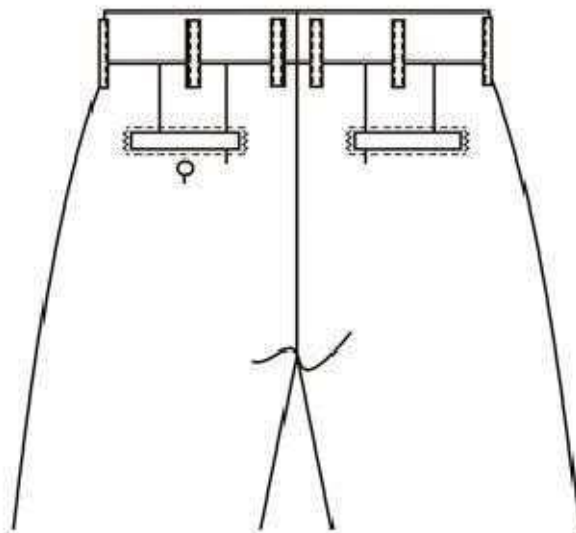
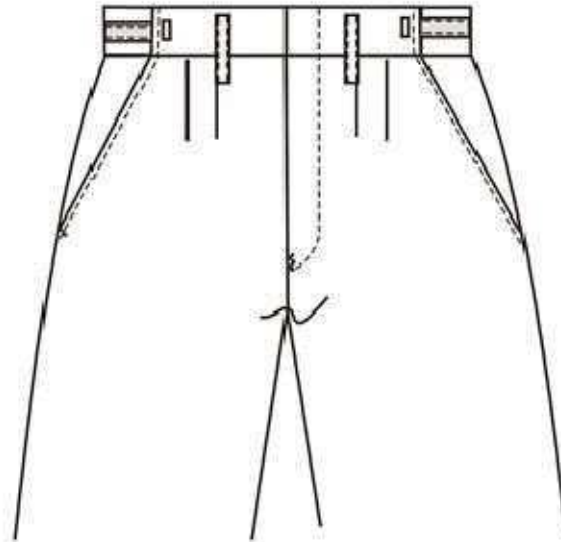
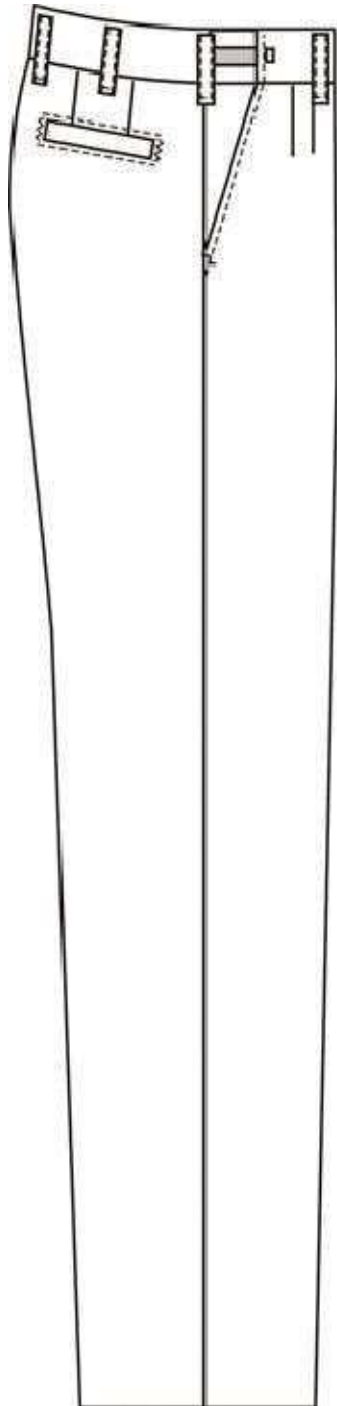
(単位：c m)

	腰廻	股下	ワタリ巾
A 1	7 0	フリーサイズ	3 3
A 2	7 3	〃	3 3
A 3	7 6	〃	3 4
A 4	7 9	〃	3 4
A 5	8 2	〃	3 5
A 6	8 5	〃	3 5
A 7	8 8	〃	3 6
B 2	9 1	〃	3 6
B 3	9 5	〃	3 7
B 4	1 0 0	〃	3 8
B 5	1 0 5	〃	3 9
B 6	1 1 0	〃	4 0

男性用（上衣）



男性用（ズボン）



消防吏員冬制服仕様書（女性用）

磐田市消防本部

消防吏員冬制服仕様書

この仕様書は磐田市消防本部にて調達する冬制服について定める。

- 1、証明書の提出 落札業者は納品時に表生地について、紡績メーカーが発行する原反出荷済証明書を提出する事。
- 2、試作品の提出 調製にあたり、試作品を提出し係員の承認を受けたのち縫製をなす事。
尚、縫製上の疑義を生じた場合は速やかに係員と打合せの上、善処する事。
- 3、検収 検収は消防本部係員が立合の上で行ない、場所は指定場所とする。
- 4、納品の保証 検収後であっても生地、縫製上等による不良品は供給業者が全て責任を持って無償で修理又は交換する。
- 5、裁断及び縫製等
 - イ、使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
 - ロ、縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
 - ハ、針数は3 c m間で地縫いは1 2針以上、飾り縫いは1 2針以上、オーバーロックは8針以上とする。
 - ニ、製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後、袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、各署ごとに分けて納品すること。
 - ホ、この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
 - ヘ、採寸については、各人によりサイズを決定するものとする。（ズボンについては股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げる

こと。)

- 6、その他 供給業者は、本仕様に明記されてない事項についても当然必要と認められる場合は既製の縫製による事。

7、材料

イ、表地

- ① 規格 ニッケ#LS440 C/#E トップ染サージ。
② 品質 毛99、5% 制電性繊維0、5%CL (静電防止)
スーパーセルボニック (強撥水・防汚) 加工

ロ、裏地

- ③ 糸番手 径2/48 × 緯2/48

東レ #303 C/#黒
静電防止・抗菌・防臭加工

ハ、袋地

4号スレキ綿100%

ニ、フロント芯

特殊接着芯 ハスケル7661B 増芯毛芯

ホ、襟芯

ハスケル768

ヘ、袖裏

AP16500

ト、腰裏

T230 カラー紺 マーベルト ラッセル入

チ、ズボン袋地

T230 カラー紺

リ、膝当地

人絹布

ヌ、付属釦

前釦消防章金属製釦 径20mm
内釦樹脂四ッ穴 タライ釦 径14mm

ル、前立

YKK製ファスナー

オ、肩綿

綿又は弾力性のある合繊

8、上衣仕様

イ、刺し

下衿は腰刺し7本以上、上衿は山刺し12本とし、衿腰は30mm 衿の返りは40mmとする。

ロ、衿

衿付は縫い倒しミシン割り縫いとする。

ハ、衿の剣

AB間35mm AC間55mm (別図の通り)

ニ、ポケット

① 胸ポケット

ア. 左胸部に1ヶ付ける。

イ. 左胸部内側身返しよりに「手帳吊ループ」をつける。

ウ. 口布の巾25mm 口巾は115mm 深さ140mm

エ. ポケット位置、裏に力布の巾を広く当て地縫する。

② 腰ポケット

- ア. 両玉縁、雨ブタ付とする。
- イ. 左右腰部にそれぞれ1ケを付ける。(別図の通り)
- ウ. 雨ブタの巾は55mmとし、ポケット口巾は150mm
深さ20mmとする。
- エ. ポケット両端に機械閉止めとする。

③ 内ポケット

- ア. 左右内側胸部にそれぞれ1ケを付ける(別図の通り)
- イ. 両玉縁、三角雨蓋付14mmハトメ穴とする。
- ウ. 口巾は、140mm 深さ180mm

- ホ、裏 総裏仕立とする。
- ヘ、ダーツ 胸1本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割り縫い、裏ダーツは片倒しとする。
- ト、肩縫い 表は割り縫い、裏は片倒しとし、片綿を入れる。
- チ、袖付け 袖裏はまつり縫い又はミシン縫いとする。
- リ、袖 割り縫い、上袖130mmの袖芯を入れる。袖蛇腹は袖口より
110mmのところに付ける。(別図通り)。幹部用金銀線は蛇腹
の袖口側に間隔なしで付ける。左袖に指定ワッペン台を縫い付け
る。
- ヌ、裾 フラシ奥縫いミシン縫い可、表地折込は40mm以上とする。
- ル、階級止め 右側胸部に、階級章の台座マジックテープ4cm×2.5cm付ける。
- オ、釦ホール ハトメ機械穴とする。
- ワ、衿吊り 衿腰中央に付ける。
- カ、品質表示 片布の下に付ける。

9、下衣仕様(スラックス)

- イ、腰ベルト 仕上がり3.0cmとし、縦地使用で指定芯入りとすること。(脇
ゴム入)
- ロ、前タック 左右各1本を外向きに付ける。深さ2cm(標準)とする。
- ハ、膝当 腰飾りミシンから約70cmのヒザ当を付け、裾は耳又は3つ巻
もしくは、ヒートカットとする。
- ニ、脇ポケット 左右に各1個斜ポケット、口幅14cm、深さ、口下端より13cm(標
準)。両閉止め、表地向当布幅4cm以上、袋は縫返し5mm飾り
押さえとする。
- ホ、後ポケット 左右1個、片玉縁、天蓋なし、左釦止め。口幅12.5cm、深さ
17cm、口両端閉止め、表地向当付3cm以上とする。

- へ、後ダーツ 2本とし、地縫い片倒しとする。ウエスト 100cm 以上 1 本可。
- ト、尻縫い 断目はオーバーロック、しりぐり、内股はミシン 2 回縫いとする
こと。特に尻ぐりは糸切れを防ぐために伸ばして地縫いすること。
- ト、前立 断目はオーバーロック、芯入り裏は表地使用。ファスナー止め。
- チ、バンド通し 5 本、上端より 0.5cm 下がり、幅 1.0cm、長さ 5.0cm とする。
- リ、腰裏 共生地とする。
- ヌ、シック 棒シック長さ 8cm(標準)を付ける。

サイズ表

女性上衣

(上り寸法) (単位：c m)

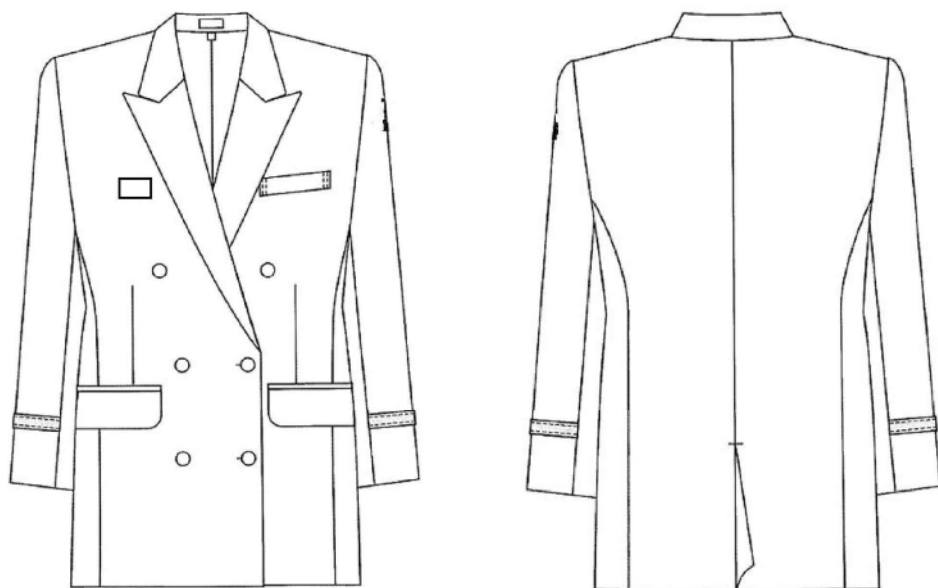
	着丈	肩巾	袖丈	B上り	中胴上り
7号	6 5	4 1	5 5	9 5	8 1
9号	6 6	4 2	5 6	9 8	8 4
1 1号	6 6	4 3	5 6	1 0 1	8 7
1 3号	6 7	4 4	5 7	1 0 4	9 0
1 5号	6 7	4 5	5 7	1 0 7	9 3
1 7号	6 8	4 6	5 8	1 1 0	9 6

ズボン (女性スラックス)

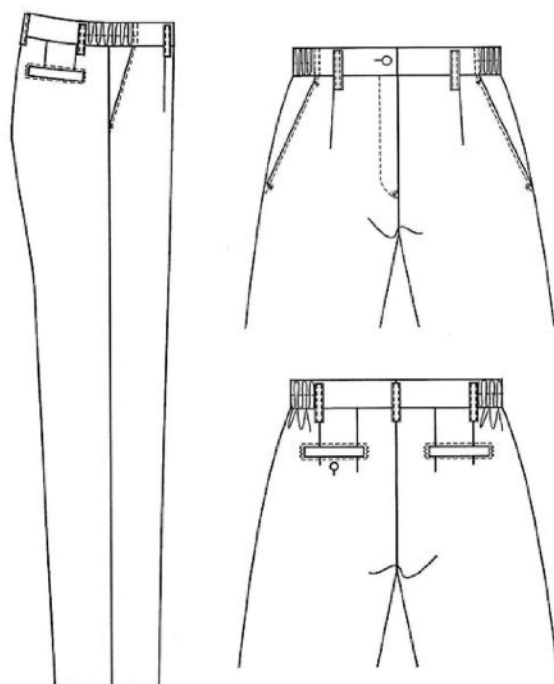
(単位：c m)

	W	H上り	股上	裾巾
7号	6 0	9 7	2 8	2 1
9号	6 3	1 0 0	2 9	2 1.5
1 1号	6 6	1 0 3	2 9	2 2
1 3号	6 9	1 0 6	3 0	2 2.5
1 5号	7 2	1 0 9	3 0	2 3
1 7号	7 5	1 1 2	3 1	2 3.5

女性用（上衣）



女性用（スラックス）



消防吏員夏制服仕様書

磐田市消防本部

仕 様 書

この仕様書は磐田市消防本部において購入する消防吏員用夏制服について定めるものである。

1. 購入物品名 消防吏員夏制服
2. 購入数量 夏服上衣（長袖）左上腕部取り付けエンブレム台座・夏服ズボン
3. 仕様について 各仕様書のとおり

仕様書に明示されていない事項についても、縫製上当然必要な事は、これを行い、使用する材料
付属品等は全般にあたって十分検査する事。

4. 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装する事。
5. 納入期限 請負契約後3ヶ月以内
6. 納入場所 消防総務課の指定するところ。
7. 本仕様書に定めていない事項については、その必要が生じた時協議の上、実地することとする。
その他不明な点については、係員の指示を受けることとする。

消防吏員夏制服仕様書

1. 型 式

- (1) 上 衣 カッターシャツ型長袖カフス付きとする。
胸部左右1個ずつ雨蓋付き張りポケットを付け、ボタン止めとする。
生地と同色系のボタンを7個を1行に付ける。
肩章付きとし、衿はワイシャツ型とする。
女性上衣は前立て打ち合わせが男性の逆型とする。

(2) ズボン

長ズボン型、裾シングルとする。

両脇ポケットは斜めに切りポケットとし、右後方に片玉ポケット

左後方にボタン付き片玉ポケットを付ける。

女性ズボンは前立て打ち合わせが男性の逆型とする。

2. 表生地材料

<上衣>

日本毛織（株）EW400L

東亜紡織（株）19120

上記製品のうち、いずれか1製品とし、色は淡青（消防本部指定色）とする。

<下衣>

日本毛織（株）EW530L

東亜紡織（株）T5670

上記製品のうち、いずれか1製品とし、色は紺（消防本部指定色）とする。

3. 縫製要領

(1) 上衣

区分	要 領
衿	衿幅中央 4.5 c m、衿先幅 7.0 c m とし、芯地を入れ、周囲を地縫い返し飾りミシン縫いとする。表衿は吹きを持たせ、折り返しの厚みをひかれぬように注意する事。上衿周囲（下部を除く）及び衿台の周囲に飾りミシンをかける。特に衿先はたるみ、つれ等が無いように仕上げる事。
衿 台	中央で 3.5 c m とし、身頃と上衿をはさんだ圧着し、衿付けは二条縫いとし、下部の一条は裏に落とす。芯はベース芯を使用する事。
胸ポケット	左右表胸部に付け、口幅 13 c m、深さ 14.5 c m（中央）とし、ポケット口より 1.5 c m の位置に雨蓋を付ける。大きさは中央で 6.5 c m、横幅 13.5 c m とする。左胸雨蓋内側より 1.5 c m の位置から使用部分 2.5 c m のペンセクション付け、そこより 2 c m 中央より幅 1.5 c m ネームプレート用セクションを付ける。左右胸ポケットは、外側に約 1.5 c m の傾斜をつける。左胸ポケット内側に手帳止め用ボタンを付ける。
肩 章	先剣型とし、肩章芯を入れ、周囲は 0.5 c m の飾り縫いをする。肩章先は衿付け縫いより、2.0 c m 肩よりの位置とする。肩章付けは袖付けに挟み込み縫いし、身頃に倒しクロスにステッチをかける。肩章開き止まり部は二重縫いする。
袖付け 袖脇縫い	地縫いし、裁ち目は合わせてオーバーロックかがり（インターロック縫い可）をする。袖縫いは脇縫いと通して縫う。袖付けは地縫いし、裁ち目オーバーロックかがりをし、0.5 c m 幅の飾り押え縫いをする。左袖にエンブレム台座（マジックテープ）を付ける。（別紙参照）

カフス及び 剣ポロ	カフス幅は 6.5 c m とし、芯を入れる。剣ポロは上前幅 2.5 c m、丈 16.5 c m、下前幅 1.2 c m、丈 16 c m 程度、開き 15 c m 程度とし、端飾りをするとともに口押さえを二重縫いする。ヒダは袖口外側深さ 1.5 c m のものを 2 本とり、カフスと袖身頃を十分縫い込む。シングルカフス式とする。
階級章止め	左右胸ポケット中心部 1.5 c m の位置に階級章止め用マジックテープを取り外しに支障が無いように取り付ける。
衿吊り・サイズ 片 布	衿吊りは衿腰中央に取り付け、衿吊り中央にサイズラベルを縫い付ける。 身頃下前裾に、指定の物を縫い付ける。
肩当て・ヨーク	衿付け中央で 8 c m、のヨークを付け、ヨーク裏身頃に同寸法の肩当てを付け、背襷は背中央にボックス型襷をとる。各々の裾を二つ折り飾り縫いとする。
前立て	前立ては本前立てとする。前立て幅は 3.5 c m とし、両端 0.5 c m の飾りステッチをする。
裾	馬乗り型、三巻縫いとする。
ボタン	ボタンは生地と同色系で上質なものを各部位に取り付ける。又、スペアボタンを下前裾裏に 1 個取り付ける。(直径 13mm 4 つ穴、再生ポリ使用の物)

(2) ズボン

区分	要 領
前タック	左右各 2 本を外向き付け、深さ 2 c m とする。
後ダーツ	左右に各 2 本とする。
膝当	前身頃上端より、膝下約 10 c m まで通し生地を付け、両脇は表地と共にオーバーロックかがりをする。裾に耳を使用しないときは、三巻縫いをする。
脇ポケット	左右各 1 個斜めポケットとし、ポケット口に裾テープ引き飾りミシンを入れ、向う当布は脇縫いから 7 c m 以上とする。ポケットは脇縫いから前立て寄り 4 c m、腰上端から 7 c m の位置とし、下端は脇縫い目の位置とし、ポケット巾は 15 c m、向う当布と共に袋地に縫い付ける。ポケット口の上下端とも門止めし、ポケット袋は口巾下部より 15 c m 程度、底巾 16 c m 程度とする。
小物入れ	右ポケット内側に口巾 8 c m 程度、深さ口巾下部より 7 c m、底巾 8 c m 程度のものを付け、必ず返し縫いをする。
バンドループ	巾 0.8～1.0 c m で使用部分 4.5 c m のものを 9 本付ける。ズボン腰上端より 1～1.5 c m の位置にベルト通しの上部を地縫いし、押え返しミシンにして、上部は三つ折り二条縫い、下部は二つ折り二重縫い付けする。
後ポケット	後身頃左右の外観上適正な位置に、使用部分口巾 14 c m、深さ 18 c m のものを付ける。右ポケット口は片玉とし、左ポケットは片玉、ボタン止めとする。なお、口巾は門止めにする。
腰裏	ウエスマン付きとし、芯を入れファスナー上部に前カンを付けウエスマン奥端は二つ折りしマーベルベルトにまつり付ける。ウエスマン巾 3.5 c m、腰裏はマーベルベルトを使用し後身頃中央で合わせ縫いをする。

尻縫い	裁ち目にオーバーロックを掛け二重縫いし完全に割る事。
天狗及び前立て	芯を貼り、ファスナーを付け、剣型鼻天狗とし、鳩目穴を掛けかかる。天狗の上がり巾 3.5 c m とし、前立てには、巾 3.5～3.7 c m c m でミシン縫いをする。
小股	5 c m 程度とし、機械門止めとする。
シック	裏地を使用し、巾 2 c m、長さ 10 c m とし縫い代に止める。
片布	上前脇ポケットの中央に縫い付ける。
サイズ表示	上前ウエスマンに縫い付ける。

4.その他の事項

- (1) 裁断及び縫製仕上げに際し、すべて最良の方法で行なう事。
- (2) ボタン付けは手付及びミシン付けとし、手付は 2 本糸にして 1 つ穴に 3 回以上通し、3 回以上根巻をする。
- (3) 穴かがりは機械穴とし、ボタンに合うようにかがり糸がぬけないようにする。
- (4) ポケット地及びマーベルトの色相は表地と同色系とし良質のものを使用する。
- (5) 芯地は必要な部分に入れ、シャツの衿先にはキーパーを使用する。

5.サイズ

(1) 上衣 サイズ表

	バスト 上がり	肩幅	着丈	長袖丈	半袖丈	カラー	カフス 長さ	釦間隔
ASS	95	41	76	52	22	34.5	26	10
AS	100	43	78	54	23	36	26	10
AM	105	45	80	56	24	37.5	26.5	10.5
AL	110	47	82	58	25	39	26.5	11
ALL	115	49	84	60	26	40.5	27	11
A3L	120	51	86	62	27	42	27	11.5
BS	117	48	81	57	24.5	41.5	26.5	10
BM	122	50	83	59	25.5	43	27	10.5
BL	127	52	85	61	26.5	44.5	27	10.5
BLL	132	54	87	63	27.5	46	27	11
B3L	137	56	89	65	28.5	47.5	27.5	11

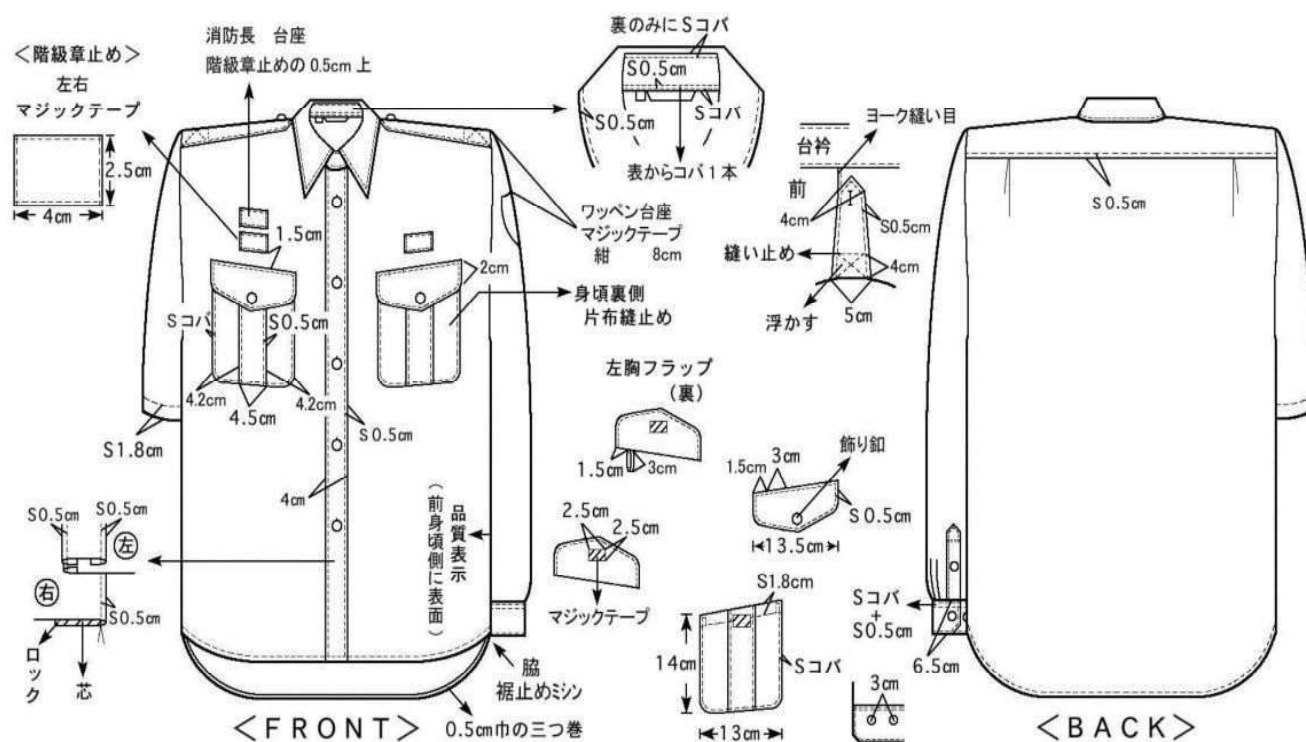
(2) ズボン (女性) サイズ表

サイズ表 (cm)	5号	7号	9号	11号	13号	15号	17号	19号	21号
ウエスト	57	60	63	66	69	72	75	79	83
ヒップ	89	92	95	98	101	104	107	111	115
総丈	94	94	94	95	95	95	95	96	96
股上	26	26	26	27	27	27	27	28	28
裾巾	21	21.5	22	22.5	23	23.5	24	24.5	25

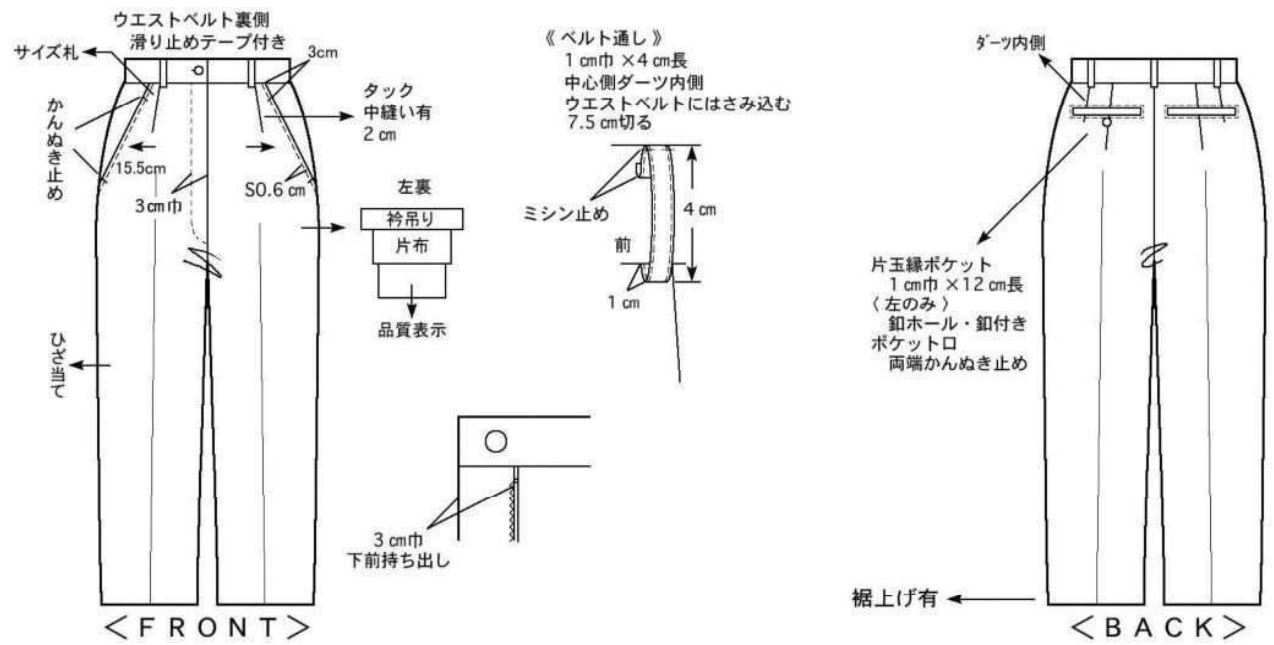
(3) ズボン (男性) サイズ表

サイズ (cm)	70	73	76	79	82	85	88	91	94	97	100
ウエスト	70	73	76	79	82	85	88	91	94	97	100
ヒップ	95	98	101	104	107	110	113	116	119	120	123
総丈	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88
股上	25	25	26	26	27	27	27	28	28	28	29
裾巾	23	23	23.5	23.5	24	24	24	25	25	25	26

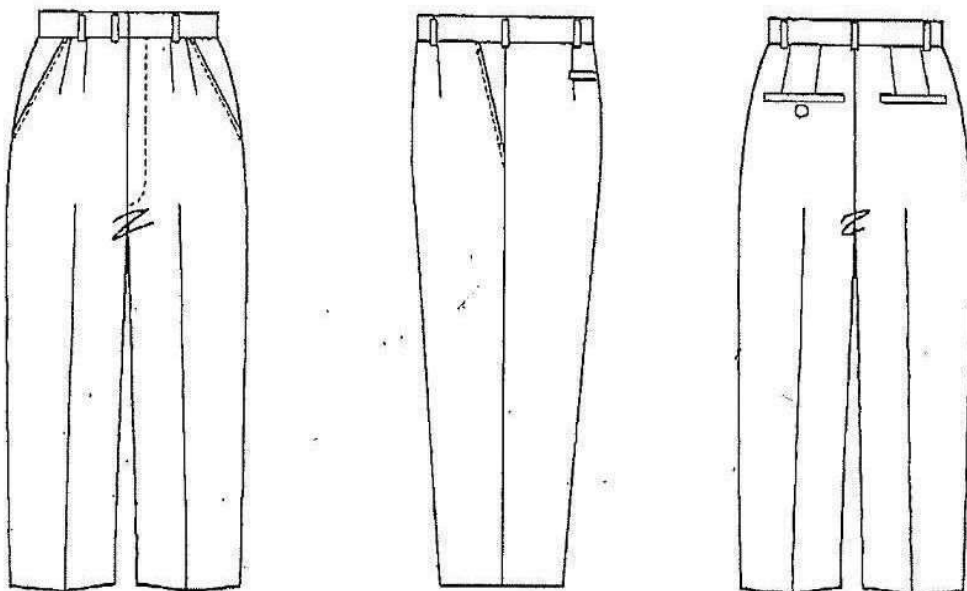
盛夏シャツ



盛夏ズボン（女性）



盛夏ズボン（男性）



保安帽仕様書

磐田市消防本部

品番 (株) イマジョー IMF-3

第1 総則

1 主旨

この仕様書は、保安帽について必要な事項を定める。

2 条件

物体の飛来又は落下による危険及び墜落からの危険から装着者の頭部を保護する構造及び性能を有し、頭部の動きによるぐらつきが小さく、装着中に不快感が少ないものであること。

3 適合法令

保安帽は、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保護帽の規格（昭和50年労働省告示第66号。以下「告示」という。）に適合するものであること。

4 書類の提出

契約締結後、次の書類を各1部提出し当本部の確認を受けること。

(1) 製造メーカーの出荷証明書

5 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに品質管理の適正を図ること。

第2 仕様

1 性能

告示に示された性能及び日本工業規格（以下「JIS」という。）T 8131「産業用安全帽」に示された難燃性を有するものであること。

2 質量

完成質量は、530グラム以下であること。

3 構造

保安帽は、帽体、装着体、衝撃吸収ライナー、顎ひもで構成され、各構成部品は次のとおりであること。

(1) 帽体

ア 本体

(ア) ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂製（FRP製）であること。

(イ) 外面（表面）は、滑らかで堅ろうであり、仕上げは焼付塗装（クリアー仕上げ）とし、容易にはく離しないものであること。

(ウ) 色調は白色であること。

イ 周章

(ア) 本体周囲に、周章の上端と下端がき章の中心から等距離となるように反射テープ（赤色）が貼付してあること。

(イ) 周章の反射性能は、JIS Z 9117「保安用反射シート及びテ

ープ」の7試験方法による観測角 12° 及び入射角 5° の条件で 10 cd/lx m^2 以上のものであること。

(ウ) 階級ごとの周章については、別記のとおりとする。

ウ キ章

(ア) シールにて取り付ける

(イ) 取付位置は、本体前面の中央とし、接着は強固であること。

エ 消防名標識

(ア) 本体の両側面に、黒色の文字により「静岡県」「磐田消防」と表示してあること。

(イ) 字体は、角ゴシック体であること。

(ウ) 表示は、樹脂製切り文字を貼付した後、表面にクリアー仕上げを施したものであり、容易にはく離しないものであること。

オ 外周緩衝

本体の外周には、幅 20 mm 以上 25 mm 以下、厚さ 1.5 mm の黒色ゴムを使用した緩衝材を内側と外側に折り曲げて取り付けてあること。

(2) 着身体

帽体外に出ない構造であり、各部分は、別図5によるほか、次のとおりであること。

ア ハンモック

ポリエチレン成型品であること。

なお、かぶり具合を調節できる補助ハンモック付きであること。

イ 連結リベット

ポリエチレン製又は同等の強度を有する合成樹脂製又は耐食性を有する金属製であり、帽体本体に固定され、ハンモック等の着身体が確実に取り付けてあること。

ウ ヘッドバンド

(ア) ポリエチレン成型品で、長さ 660 mm 以上、幅 30 mm 以上であること。

また、ヘッドバンドの長さは、頭回りに応じて概ね 54 cm から 60 cm までの範囲で概ね 1 cm ごとに調節できるものを標準とし、0号サイズは別に指示する。

(イ) ヘッドバンドには、長さ 660 mm 以上、幅 40 mm 以上の折返しを施した汗止めを全周に取り付けてあること。

なお、使用する素材は、吸水性及び耐久性に優れた物であること。

エ 緩衝パッド

(7) 独立気泡のスポンジ製で、長さ110ミリメートル以上、幅20ミリメートル以上、厚さ6ミリメートル以上であること。

(1) 取付けは、ヘッドバンドと帽体の間で、前頭部及び両側頭部の位置であること。

(3) 衝撃吸収ライナー

ア 発泡スチロール又はこれと同等の衝撃吸収性能を有するものであること。

イ 帽体の内側に密着して取り付けてあり、帽体外部からの衝撃を有効、かつ、安全に吸収できるものであること。

ウ 外部から見える位置に、別図6に示す紙標（顎ひもの種類によりそれぞれ該当するもの）を取り付けてあること。

(4) 顎ひも

別図2によるほか、次のとおりであること。

(7) ナイロン製の重織（黒色）であること。

(1) 帽体又は着装体に固定され、使用中に帽体が脱落及び揺動しないものであり、確実に締め付けられるものであること。

ア リング式

(7) ポリエチレン成型品の顎あて（黒色）を取り付けてあること。

なお、顎あて（黒色）は、顎ひもの端末を固定できるもの（顎あての下部に分離されたものでも可とする。）であること。

(1) 顎ひもの調整金具に、顎ひもと共布で2枚重ねのつまみを取り付けてあること。

(9) 顎ひもの先端は、2つ折りに返して縫い付けてあること。

(1) 着用者の右側で締め付けができるものであること。

(5) 頭頂パッド

頭頂部に衝撃性、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した直径130ミリメートル（寸法許容差：125ミリメートル以上135ミリメートル以下）の頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けてあること。

第3 補則

1 こん包

品名、階級、数量、納入年度及び納入業者を明記した段ボール箱に入れること。

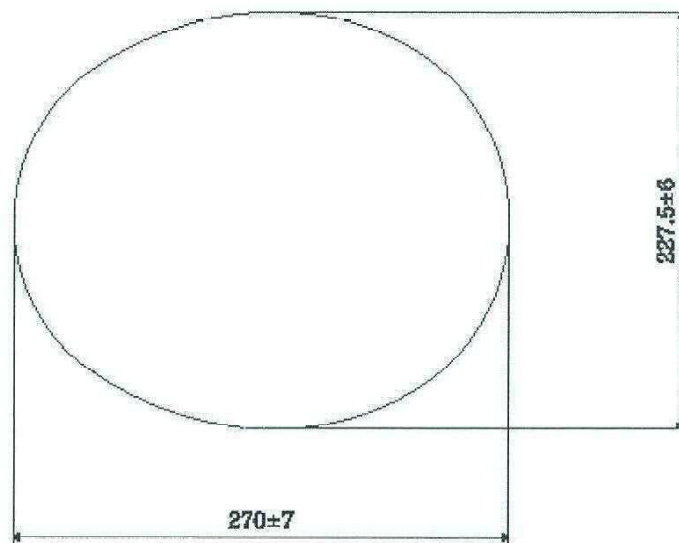
2 その他

(1) 納入その他については、別に指示する。

概要図 1

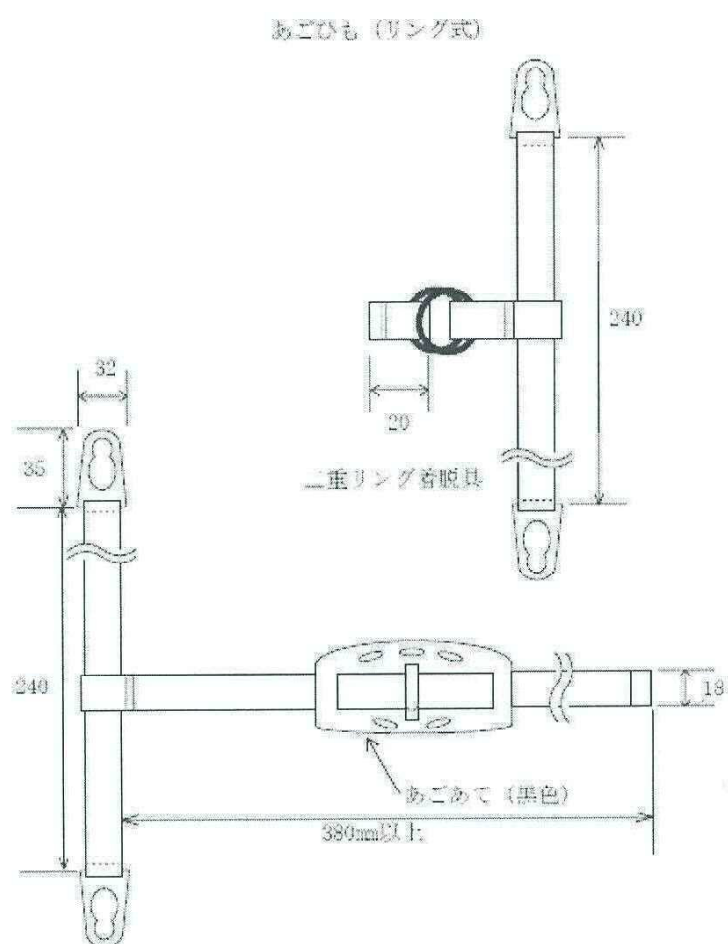
寸 法

単位:mm



寸法は、外周裝飾を取り付けたときの数値とする。

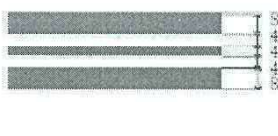
概要図 2



別記

階級別周章図表

(単位:mm、寸法許容差±0.5)

階級	周章	階級	周章
消防総監		消防司令	
消防司監		消防司令補	
消防正監		消防士長	
消防監		消防副士長	
消防司令長		消防士	

消防吏員用アポロ作業帽仕様書

磐田市消防本部

消防吏員用アポロ作業帽仕様書

1 概要

この仕様書は、磐田市消防本部において調達する消防吏員用アポロ作業帽について必要な事項を定める。

2 条件

- (1) 当アポロ作業帽の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ(ヨリ)ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) デザインは仕様書に基づくものとする。
- (5) 縫製にあたり、あらかじめ試作品を提出し、当本部の検査を受けた後、量産にかかること。
- (6) 製品の納入に際しては、各署ごとに分けて納品すること。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸については、各人によりサイズを決定するものとする。

3 提出物

(1)製品出荷済証明書

落札者は納品時に、製造会社が発行した製品出荷済証明書を提出する事。

4 品名(品番)及び数量

アポロ作業帽(品番ミズノMC000)

ヶ

5 納期

請負契約後、3ヶ月以内

6 納入場所

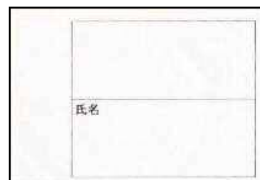
消防本部

7. 形式（品番ミズノMC000）

丸ワイド型 前章・左背面刺繍 月桂樹銀糸 底内ぐりパイピング加工

8 仕様材料

- | | |
|------------|--|
| (1) 表生地 | フーパイ紡織 梅花メッシュ 92Z ネイビー(M-19) |
| (2) 裏生地 | #838（前裏を補強すること）、トリコットのり付き 黒（裏を補強すること） |
| (3) 底表生地 | 本体と共生地 |
| (4) 底裏生地 | 本体と共生地 |
| (5) 底 芯 | 黒 ポリエチレン 2.5mm厚 Y芯 |
| (6) テープ | テترون 黒 |
| (7) 穴かがり | 同色の天穴 6 個 9mm |
| (8) 底内ぐり | T/C ブロード 黒（解れを防止すること 別紙参照） |
| (9) アジャスター | YKK製 プラスチック 黒 |
| (10) 汗止 | フィールドセンサー巾 4cm(吸汗速乾素材) 黒
中芯有り 裏 ポケットメッシュ黒 |
| (11) 天釦 | 芯プラスチック 共生地で包む。 |
| (12) 前立て | #7509 ナイロン 100% |
| (13) 片布 | |



9 仕 様

- (1) レンゲ 6 枚上方に穴かがりを入れる。
- (2) 丸ワイド型前身1枚とレンゲ 6 枚を縫い合わせ前立てを付ける。
- (3) 全ての縫目をテープで包む。
- (4) 底は表・裏共に共生地で、間にサンド生地で、底芯を包みミシンで 1 本ステッチを入れる。
- (5) 後方に縦幅 1.5cmのベルトを本体と共生地で作り、アジャスターの一方を取り付け、一方を帽子本体に取り付ける。
- (6) 天釦を天井部分に穴をあけ打ち込む。

10 サイズ表

S	M	L	LL
55	57	59	61

※上記寸法以外は、別寸にて縫製する。

【丸ワイド型】

本体：梅花メッシュ(M-19・ネイビー)、穴かがり6個(本体同色)、底裏共生地、※前立裏有



【正面】「IWATA」(ホワイト・KS-401/ゴールド・KS-MG2)「徽章」(シルバー・KS-MS1)、
「FIRE DEPARTMENT/SHIZUOKA」(レッド・KS-518)



【底】「月桂樹 E」(シルバー・KS-MS1)



磐田市消防本部 革手袋仕様書

【革手袋】

1 総則

(1) 目的

本仕様書は、磐田市消防本部が定める消防活動用作業手袋について必要な事項を定めることを目的とする。

(2) 条件

この消防活動用手袋は（エクスライブ）について規定する。

2 仕様

(1) 素 材

甲：ポリエステル 100%

人工皮革スエード 0.7mm厚

平：マチ・人工皮革スエード 0.7mm厚

カフス：40mmパイルゴム

(2) 構造

【甲ガード】

鎧兜をイメージした人工皮革スエード

【三角マチ】

サイドスリット部分に三角マチを縫い付け、異物混入を防止

【親指のスムーズな動き】

動きを妨げず耐久性のある形状

【高機能ポリエステル素材・エクスライブ】

特徴 1ー吸水速乾

・発汗感知・吸湿発熱・放湿冷却・自己乾燥といった一連の機能を循環、快適域保

特徴 2ー抗菌機能

菌の発する悪臭をおさえる

【サイズ】

S・M・L・LL・3L

ケブラー手袋仕様書

ガイドライン対応

【ケブラー手袋】

1 総則

(1) 目的

本仕様書は、磐田市消防本部が定める消防活動用ケブラー手袋について必要な事項を定めることを目的とする。

(2) 条件

この消防活動用手袋はアラミド繊維手袋について規定する。

2 仕様

(1) 材 質

パラ系アラミド繊維、メタ系アラミド繊維交編編物 2 重ニット

牛表皮（耐炎加工） 皮厚 0.7～0.8mm

綿布

衝撃吸収材 透湿防水フィルム

帯ゴム

ポリウレタン

(2) 縫糸

主部	ケブラー縫糸	30 番
----	--------	------

マジック取付部/パイル取付部/インナー部	スパン糸	30 番
----------------------	------	------

(3) 構造及び縫製

① 構造

(ア) 本手袋は、パラ系アラミド繊維、メタ系アラミド繊維交編編物 2 重ニット素材を使用し、インナーに透湿防水フィルム・綿布を使用する。

(イ) 本体(掌部)は補強用アテ素材として牛表皮(耐炎加工)を縫付けて 2 重構造となる。

(ウ) 掌部の補強アテは、各指の第 1 関節までの 5 枚、掌全体を覆う 1 枚の計 6 枚となる。

(エ) 甲側各指先爪上部を牛表皮(耐炎加工)にて補強する。

(オ) 補強用アテ形状については別紙参照。

(カ) 甲部には保護用甲飾りを縫付け、内部には衝撃吸収材を使用する。

(キ) 保護用甲飾りは拳上部に位置し拳部を保護する。

(ク) 保護用甲飾りの形状については別図参照。

(ケ) 袖口マジックを掌側に縫付ける。

(コ) マジックの形状については別図参照。

② 縫製

(7) 縫製は内縫いとする。

(イ) 指部は指内部に縫目の無いガンカットにより縫製する。

(ウ) 補強用アテ

表側から牛表皮(耐炎加工)をケブラー縫糸で縫付ける。

手の平部分のアテは裏だしにて縫付ける。

(エ) 保護用甲飾り

裏側から衝撃吸収材を縫付け、甲部所定の位置につける。

(オ) 袖口止め

牛表皮(耐炎加工)縁にポリウレタンテープを縫付け、本体に取付ける。

(カ) 甲部絞り

甲部袖口上部に 2 重絞りを縫付ける。

③ 使用素材

	部 分 名	名 称		色
主 要 部 分	本 体	甲部	パラ系アラミド繊維 メタ系アラミド繊維交編編 2 重ニット	橙・紺
		掌部	パラ系アラミド繊維 メタ系アラミド繊維交編編 2 重ニット 牛表皮(防炎加工)0.7～0.8mm 厚	橙・紺 茶
内 層 部 分	本 体	①	透湿防水フィルム	透明
		②	綿布	生成
付 属 部 分	甲飾り	甲部	牛表皮(耐炎加工 0.7～0.8mm 厚 クロロプレン	茶 黒
	掌アテ	掌部	牛表皮(耐炎加工 0.7～0.8mm 厚	茶
	袖口 開閉止め	ベル ト部	牛表皮(耐炎加工 0.7～0.8mm 厚	茶
	縁取りテープ	縫糸	スパン糸 30 番	黒

	シボリゴム			
	上記以外の部分	縫糸	ケブラー 30 番	黄
	三角マチ	袖部	パラ系アラミド繊維 メタ系アラミド繊維交編編 2 重ニット	橙・紺

④ 素材の名称及び性能

	名 称	性 能		
		項 目	基 準	試験方法
パラ系アラミド メタ系アラミド 交編編 2 重ニット	パラ配向芳香族 アラミド繊維 メタ配向芳香族 アラミド繊維	引張強さ	縦 70Kgf 以上 横 90Kgf 以上	JIS L1018 グラフ法
		伸び率	縦 60 % 以上 横 60 % 以上	試験片布 10cm 引張速度 10Cm/分
		引裂強さ	縦 11Kgf 以上 横 10Kgf 以上	JIS L1018 試験片布 10cm 引張速度 10Cm/分
		破裂強さ	160Kgf 以上	JIS L1018
		収縮率	縦 1.5%以内 縦 2 % 以内	JIS L1018 処理時間 3 分 処理温度 180 度
		摩擦堅牢度	乾燥 5 級以上 湿潤 4・5 級以上	JIS L0849 摩擦試験機 II 型による

⑤ サイズ表 単位：mm

サイズ表	A	B
M	260	105
L	265	110
LL	275	115

ブルゾン型防寒衣 仕様書

磐田市消防本部

1. 総則

この仕様書は、磐田市消防本部（以下「当本部」という。）の防寒衣について定める。

2. 型式

- （１） 着脱式フード付きジャンパータイプで、裏襟にはブロックフリースを付けること。
- （２） 両胸にポケットが付き反射テープを使用すること。
- （３） 前立ファスナーにマジックテープカバーが付くこと。
- （４） 袖口はマジックテープで締められる構造で、左袖にはポケットを付け止水ファスナーで閉じること。
- （５） 内部左側に内ポケットが付くこと。
- （６） 背中に別紙の文字をアイロンプリントで表示すること。
（字体・色は別紙を参照）
- （７） ジャンパー表面の色はネイビー色とすること。

3. 条件

- （１） 基準品 KURODARUMA 54200 の同等品であること。
- （２） この仕様書及び、説明されていない事項で疑義が生じた場合は、当本部と協議すること。

4. 素材

- （１） 防寒素材表地：ポリエステル１０
０％中綿：ポリエステル１００％
裏地：ポリエステル１００％（ソーラーセンサー／タフタ）
- （２） 付属品素材ファスナー：樹脂ボタン：金属

5. 性能

- （１） 上記の素材で構成され、防水性 10.000 mm・透湿性 4.000g／24h 以上の性能を有するもの。

- (2) 裏地には太陽光を吸収し、熱エネルギーに変換する保温素材を有するもの。
(ソーラーセンサー／タフタ素材)
- (3) 保温性と厚み保持機能を併せ持つ中綿素材は、通常の圧力や洗濯により厚みが減少することが無いものとする。

6. サイズ（下記の通りとする）

防寒衣 サイズ表

	S	M	L	LL	3 L	4 L	5 L	7 L
着丈	65	67	69	71	73	73	73	73
肩巾	48	50	52	54	56	58	60	64
胸囲	120	125	130	135	140	145	150	160
袖丈	58	60	62	64	66	66	66	66

7. 背文字プリント及び左胸刺繍

- (1) シルクプリントで後身上部中央上段に「静岡県」を、下段には「磐田消防」と圧着する。
- (2) 角ゴシックで文字の大きさは別紙に示す通りとする。
- (3) 左胸には、名札の台座を取り付けること。

プリントデザイン画（340mm×134mm）

静岡県磐田消防

活動服のプリントと同じイメージです。

以上

編上靴・革製 仕様書

磐田市消防本部

(WS33静電靴消防)

1 適用範囲

この仕様書は、主として着用者のつま先の保護を目的とし、表底に合成ゴム(2層)と高機能樹脂の3層構造底を用い、軽量かつワイドな樹脂先芯を装着した静電靴(以下靴という)について適用する。

2 製法

JIS T 8103 の JIS マーク等の使用が認められた製品で、靴の製法はインジェクション式製法によるものとする。

3 靴の形状

靴の形状は、履きロクッション入り、外ファスナ・当革付、長編上靴とする。(付図 1 参照)

4 品名及び種類

品名及び JIS T 8101・JIS T 8103 に基づく種類・記号は表1の通りとする。

表 1

品 名	種 類	記 号
WS33C 付静電靴 消防		
	一般静電安全靴	ED-P
	環境区分 2	C2
	クラス I (革 製)	CI
	普通作業用	S
	かかと部の衝撃エネルギー吸収性	P3
	表底の耐燃料油性	
	クリート付きの表底	
	耐踏抜き性	
	表底の耐高熱接触性	F2
	耐滑性	
	靴底の高温熱伝導性	HI1

5 性能及び加水分解保証保存期間

5.1 靴の性能

靴の性能は、表 2 の規格に適合すること。

表 2

項 目	規 格	試 験 方 法
静電気 帯電防止性能	$23\pm2^{\circ}\text{C} : 1\times10^5\Omega \leq R \leq 1\times10^8\Omega$ $0^{\circ}\text{C} : 1\times10^5\Omega \leq R \leq 1\times10^9\Omega$	JIS T 8103 9.1 による。 環境区分 2
耐圧迫性	先芯と中底とのすきまがサイズ毎に別表-1 を満足すること。	JIS T 8107 の 5.4 S 種条件による。
耐衝撃性		JIS T 8107 の 5.3 S 種条件による。
甲被と表底の剥離抵抗	300N 以上	JIS T 8107 の 5.1 による。

かかと部の衝撃 エネルギー吸収性	20 J 以上	JIS T 8107 の 5.10 による。
耐滑性	動摩擦係数 0.30 以上(区分 2)	JIS T 8107 の 5.14 による。
耐踏抜き性	1100N 以上	JIS T 8107 の 5.7.1 による。
靴底の高温熱伝導性	靴内温度 22℃ 上昇時間が 20 分以上、 30 分未満であること(区分 1)	JIS T 8107 の 5.9.1 による。

別表－1

靴のサイズ	最小すきま(mm)	靴のサイズ	最小すきま(mm)
23.0 以下	12.5 以上	26.0～27.0	14.0 以上
23.5～24.5	13.0 以上	27.5～28.5	14.5 以上
25.0～25.5	13.5 以上	29.0 以上	15.0 以上

5.2 耐加水分解保証保存期間

靴の耐加水分解保証保存期間は 10 年とする。

6 構造及び寸法

6.1 一般構造

靴の一般構造は、次による。

- (1) 製造の過程において、つま先部に損傷を与えない限り取り外せない方法で先芯を装着し圧迫及び衝撃に対し、着用者のつま先を保護する構造であること。
- (2) 軽量で履き心地がよく、作業しやすいものであること。
- (3) 7 に示す材料をもって堅固に製造し、甲革、表底その他の仕上げは入念に行い、形状は均整であること。
- (4) 先芯の後端部内側は補強してあること。
- (5) 砂よけは、袋ベロ、袋マチとする。
- (6) 履き口(トップライン)にクッションを挿入し、足の履き口部分をソフトに包む構造であること。
- (7) 先裏には靴のムレを軽減する不織布素材を使用していること。
- (8) 腰革左右羽根部にえぐりを入れ、足首の屈伸を容易にできる構造とする。
- (9) 靴の紐通し用として外羽根部片側にハトメ 8 個を配していること。
- (10) 磨耗し易い内腰革下方部に当革を縫い付け補強してあること。また、外腰革にはファスナを取付け、着脱が容易であること。
- (11) 市革、踵部には夜間、ライトを反射する反射材が縫い付けてあること。
- (12) 不踏部から足裏の中心のくぼみ部分にかけて足裏をしっかりと持ち上げて圧力を分散する抗菌加工の中敷を使用していること。
- (13) 靴底は、経年変化に強く、クッション性にも優れた高機能樹脂製のミッドソールと、耐油性に優れた 2 層式合成ゴム製のアウトソールで形成されている 3 層構造底とする。

(14)表底(踵を含む)の底意匠は耐滑性を考慮した、別紙の通りの形状とする。(付図 2 参照) 接地面積が大きく安定感に優れるフラットソールを採用、あらゆる形態の凹凸にフィットさせ独立懸架構造で活動し易いものであること。

(15)靴底に踏抜き防止を目的とした踏抜き防止板(全面プレート)が入っていること。

6.2 寸法

(1) サイズ

靴のサイズは、表 3 の通りとする。

表 3

足長(cm)	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5
足囲(mm)	237	240	243	246	249	252	255	258	261	264	267	270
足長(cm)	28.0	29.0	30.0									
足囲(mm)	273	279	285									

(2) 靴の後部高さ

靴の後部高さは、中底より履き口上端までを直線に測った内測とし、表 4 の規格に適合すること。

表 4

(許容差 $\pm 3\text{mm}$)

足長 (cm)	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0
後部高さ(mm)	195		201				207			213			
足長 (cm)	29.0	30.0											
後部高さ(mm)	223												

7 使用材料

靴に使用する材料は付表の使用材料一覧表による。その他、次の各項を満足すること。

7.1 甲革

甲革はクロムなめし法により柔軟に製造した牛革を使用し、表 5 の規格に適合したものとする。

表 5

試 験 項 目	規 格	試 験 方 法
厚 さ (mm)	$1.60 + 0.20$ $- 0.10$	JIS T 8107 の 6.1 による。
銀面割れ 高 さ (mm) 力 (N)	6.0 以上 150 以上	JIS T 8107 の 6.4 による。

7.2 先芯

先芯は、次による。

- (1) JIS G 4401 と同等以上の強さを持つ樹脂材料で JIS T8101「安全靴」の耐圧迫性、耐衝撃性能を有するものとする。
- (2) JIS T 8101 規格の S 種条件により先芯単体で圧迫試験した場合、先芯の底面とアーチ後端部の最も変形した箇所との すきまが 25mm 以上でかつ、ひび割れを生じないこと。

- (3) JIS T 8107 の 5.2.3.2 の非金属性先芯の高温耐熱試験、低温耐熱試験、耐酸性試験、耐アルカリ性試験及び耐燃料油性試験をしたとき、衝撃試験前の試料に目視で判るような著しい外観の変形がないこと。更に衝撃試験後の試料に二つに分断されるような割れを生じないこと。

7.3 表底

- (1) JIS T 8107 の 7.2 (厚さ及びクリートの高さの測定) によって測定したとき、クリートの高さは 2.5mm 以上、靴底の厚さは 3.0mm 以上 (中間層含む) であること。
- (2) 表底(踵を含む接地面)は合成ゴム製とし、表 6 の規格に適合するものとする。

表 6

試 験 項 目	規 格	試 験 方 法
引張特性 引張強さ (N/mm ²) 伸び (%)	14 以上 300 以上	JIS T 8107 の 7.4 による。
引裂強さ (N/mm)	35 以上	JIS T 8107 の 7.3 による。
耐老化性 引張強さの変化率 (%)	±20 以内	JIS T 8107 の 7.6 による。
耐燃料油性 体積変化率 (%)	±12 以内	JIS T 8107 の 7.7 による。
耐高熱接触性	溶融せず、亀裂が生じないこと	JIS T 8107 の 7.8 による。

7.4 中底

中底は、柔軟かつ強靱で、吸湿性のある材料とする。

7.5 甲縫用糸

縫糸は、その使用目的に適合したもので、太さ及びより方は均等なものであること。

7.6 付属品

付属品は、すべて使用目的に適合したものであること。

8 製造方法

8.1 裁断

- (1) 甲革の伸び、方向、傷などに注意し、つま革、腰革、及び市革等を裁断する。
- (2) その他、付属品を裁断する。
- (3) 切り口染めとする。

8.2 製甲

- (1) 所定の位置に、銀ペンにて当たりを付ける。
- (2) 腰(外)革にファスナー、袋マチを貼り、ファスナー縫いを二条一列で縫う。
- (3) 腰(外)革に面ファスナーを貼り、一条一列で縫う。
- (4) 腰革後部を合わせて千鳥ミシン縫いする。
- (5) 市革に反射材を貼り、反射材周囲を一条一列で縫う。

- (6)腰革に市革を貼り、市革縫いを二条一列で縫う。
- (7)腰革とクッションカバーを合わせ、糸で縫割する。
- (8)腰革にクッションを貼り、クッションカバーをまくり返して腰革に貼り、履口縫いを一条一列で縫う。(9)腰革月型部に反射材を貼り、反射材周囲を一条一列で縫う。
- (10)腰革に月型芯・月型裏を貼り二条一列で縫い、月型裏をさらう。
- (11)先裏前部を合わせて糸で縫割する。
- (12)ベロ裏にネームを貼り一条一列で縫う。
- (13)ベロ革にベロ裏を貼り裏側から一条一列で縫う。
- (14)ツマ革にベロ革・先裏を貼り、二条一列で縫う。
- (15)腰革にハトメ裏・ベロを枠貼りし、枠縫いを一条一列で縫う。
- (16)ツマ革に腰革を貼り、上げミシン縫いを二条一列で縫う。
- (17)腰(内)に当革を貼り、当革周囲を二条一列で縫う。
- (18)ファスナー止カバーに面ファスナーAを貼り、裏側から糸で一条一列で縫う。
- (19)腰(外)革にファスナー止カバーを貼り、二条一列でマス縫いする。
- (13)ハトメ部に#300で穴空けし、ハトメを詰めて打つ。
- (14)製甲(アップー)段階での仕上げをする。
- (15)針足数は、30mm間 10～15目とする。
- (16)アップーと中底を合わせ、巻縫いする。

8.3 吊込み及び底打ち

- (1) アップーに靴型を装着し、その甲被のつま先部に先芯を装着し、吊り込み機でつま先部を完全に吊り込む。
- (2) 甲革銀剥機で吊り込み部、及びアップー部の銀剥をし、接着剤を塗布し、踏抜防止板を中底の所定の位置に取り付ける。
- (3) 成型機に装着し、高機能樹脂を金型中に射出し、成型する。
- (4) 靴型から成型した靴を抜く。

8.4 仕上げ

- (1) 接着剤の汚れや甲革の汚れを落とし、仕上げをする。
- (2) 中敷を入れ、靴紐を通す。

9 検査

- (1) 静電気帯電防止性能試験は、JIS T 8103に規定する方法(環境区分2)により抜取検査で実施する。また、JIS T 8103:1983年版に規定する第2試験方法により全数検査を行う。

結果は「静電靴試験票」に記入し、靴に添付する。

(付図 3 参照)

(2)検査は合理的な方法により行い、5～7 の規定に適合すること。

10 包装及び表示

10.1 包装

(1)靴は1足毎に個装箱に入れる。

(2)10足を段ボール箱1ケースに入れ、梱包する。

10.2 表示

(1)靴にはJISマーク及び認証機関略号、サイズ、日本産業規格の番号及び名称、保護の種類・記号及び保護の適切なカテゴリー表示、認証番号、製造業者名(又はその略号)及び製造年月(又はその略号)を表示する。

(2)個装箱には、品名、サイズ、日本産業規格の番号及び名称、JIS マーク及び認証機関略号、認証番号、保護の種類・記号及び保護の適切なカテゴリー表示、製造業者名(又はその略号)及び製造年月(又はその略号)を表示する。

11 環境保全本仕様書に規定される商品は JIS 認証商品であり、ISO14001 認証取得工場で製造されなければならない。

12 関連規格

次にあげる関連規格の適用にあたっては、最新版を用いる。

JIS S 5037 靴のサイズ

JIS T 8101 安全靴

JIS T 8103 静電気帯電防止靴

JIS T 8103-1983 静電気帯電防止用安全・作業靴

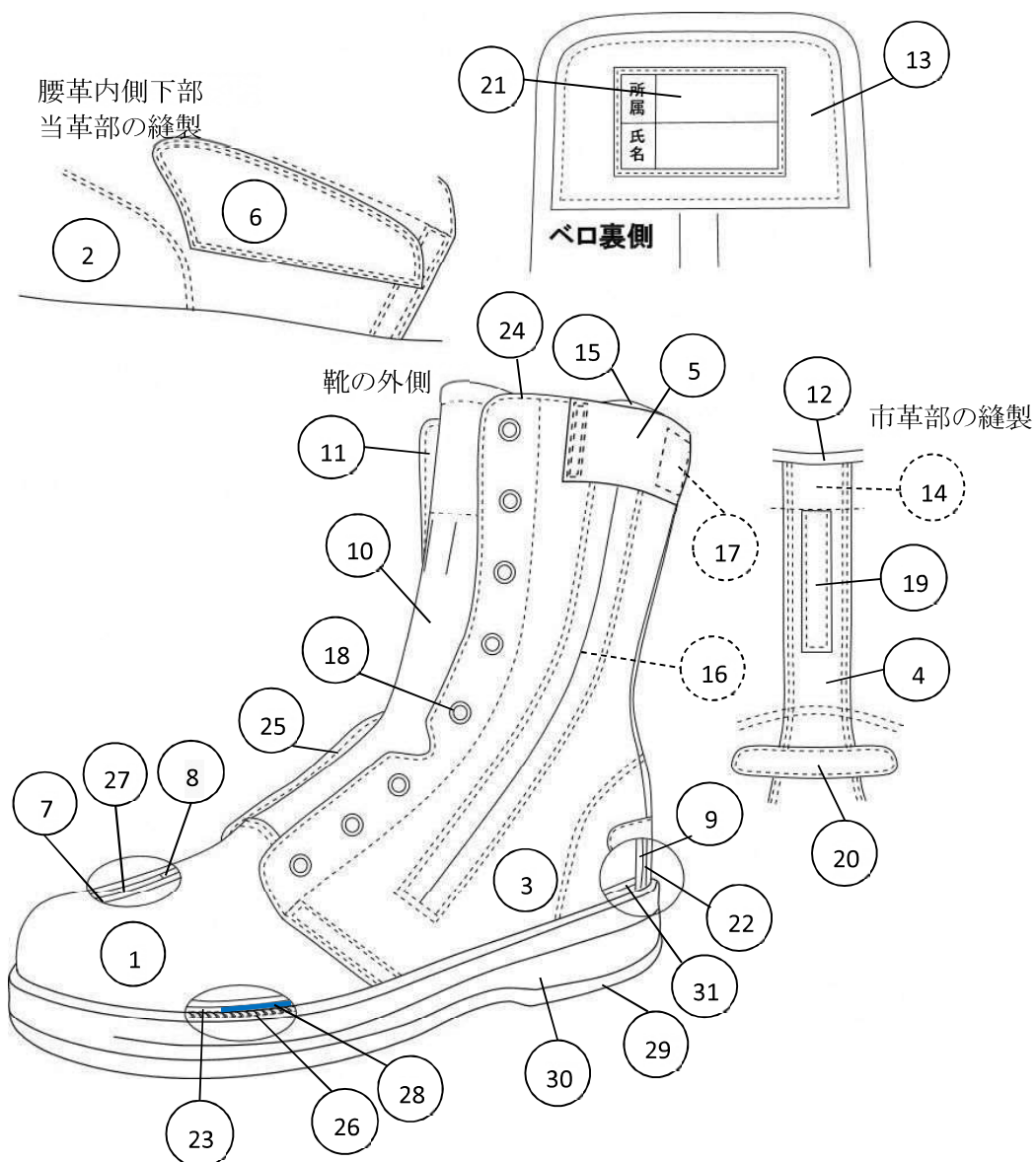
JIS T 8107 安全靴・作業靴の試験方法

付表 使用材料一覧表

No.	部 品 名 称	材 料	規 格
1	甲 革 つま革	クロムなめし牛革 型押し 黒	表 5 による。
2	〃 腰 革 (内)	〃 〃	〃
3	〃 腰 革 (外)	〃 〃	〃
4	〃 市 革	〃 〃	〃
5	〃 ファスナ止カバー	〃 〃	〃
6	当 革	〃 〃	〃
7	先 裏	不 織 布 グレー	厚さ 1.3±0.2 mm
8	先 芯 下 補 強	不 織 布 〃	〃
9	月 型 裏	合 成 皮 革 黒	厚さ 0.5～1.2 mm
10	ベ ロ	エ バ ー ス キ ン 〃	厚さ 0.6～1.2 mm
11	ハ ト メ 裏	〃 〃	〃
12	クッション カバー	不 織 布 〃	厚さ 0.5±0.2 mm
13	ベロ裏	〃 〃	〃

14	クッション	スポンジ	厚さ 10 mm 標準
15	袋マチ	人工皮革 黒	厚さ 0.4～0.5 mm
16	ファスナ	コイルファスナー 5号 下止付 黒	長さ 19.5～24cm
17	面ファスナ	面ファスナ A・B 黒	幅 25mm×40mm
18	ハトメ	黒天塗	# 300
19	反射材	反 射 布 オレンジ蛍光	市革用
20	〃	〃 〃	踵用
21	片 布	表 示 布	所属、氏名
22	月 型 芯	合 成 材	厚さ 1.5±0.2 mm
23	中 底	合 成 繊 維 導電繊維入り	厚さ 1.5±0.2 mm
24	甲 縫 糸(上)	合 成 繊 維 黒	# 20
25	〃 (下)	〃 〃	# 30
26	巻 縫 糸	〃 白	# 20
27	先 芯	特 種 樹 脂 製	JIS T 8101 S 種合格品
28	踏 抜 防 止 板	ス テ ン レ ス プ レ ー ト	厚さ 0.5mm 標準
29	表底(アウトソール)	耐 油 性 合 成 ゴ ム 黒・黒	表 6 による。
30	表底(ミッドソール)	高 機 能 樹 脂 黒	5.2 による。
31	中 敷	カ ッ プ イ ン ソ ー ル グレー (不織布+発泡 PE) 導電糸縫い付け	JIS マ ー ク、認 証 番 号 入
32	靴 紐	合 成 繊 維 黒	長さ 180cm 標準
	そ の 他	接 着 剤	

付 図 1 絵 仕 様



付 図 2 底 意 匠



付 図 3 静電靴試験票 及び 使用説明書

《表》

静電靴試験票			
種 類	規格 電気抵抗(R) Ω		
特種静電靴	23±2℃	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^7$	
	0 ^{±2} ℃	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^8$	
一般静電靴	23±2℃	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^8$	
	0 ^{±2} ℃	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^9$	
試験番号	No.		
JIS規格法(抜取検査)			
電気抵抗(R) ×10 ⁹ Ω	左		右
	個別測定法(全数検査)		
	合 格		
検査年月日			
検査担当者			
着用年月日	年 月 日		
所 属			
氏 名			

(注) 個別測定法は、JIS規格法と相関性のある簡易測定法を採用

御願い：太枠内の事項を御記入の上、安全担当部門にお渡し下さい。

株式会社 シモン

《裏》

この度は当社静電靴をお買上げ頂きまして、誠に、有難うございます。ご使用の際は安全保持上、次の事項を厳守くださいますようお願い申し上げます。

注意 誤った取扱をすると「障害を負う可能性」が想定されます。

1. この静電靴は、JIS T 8103 (静電気帯電防止靴) 規格に基づいた静電気帯電防止性能を有する靴です。
2. 床面の漏洩抵抗が極めて大きい場合(絶縁性のプラスチック系張り床、塗り床等)、表底が汚染する環境下、又は一定の環境下では帯電防止性が期待できないことがあります。事前に床の抵抗をJIS C 61340-4-1に従って測定する、定期的に性能確認する、着用者保護のための準備処置など、必要な対策を講じてください。
3. 鞋底に塗料、樹脂等の絶縁物質が付着した場合、廃棄してください。
4. 感電防止を目的とした靴ではありませんので、靴又は身体の一部を電気機器、配線等の充電部(裸線等)に触れないでください。
5. 火薬類又は火工品の製造所において基本的に取り扱う物質の着火エネルギーが0.1mJ以上であれば、一般静電靴、0.1mJ未満であれば、特種静電靴又は導電靴をご使用ください。
6. ESDMで、100Vで損傷を受けるおそれのある電子デバイスなどの保護に使用する場合は、事前の性能試験、専門家のアドバイスなどにより適切な区分の靴を選択してください。
7. 着用後、帯電防止性を適宜確認し、電気抵抗の規定値を満たさない場合、速やかに廃棄してください。

警告 取扱いを誤った場合、「死亡又は重傷を負う可能性」があります。

1. 静電靴の帯電防止性能を維持するために、次の事を厳守してください。
 - (1) 内部構造を改造しないでください。
 - (2) 寒冷な環境下において厚手の靴下を着用する場合は発汗によって足裏と靴との導通が確保されるまでの間、爆発危険区域又は爆発高危険区域へ立ち入らないでください。
 - (3) インソールは備え付けのシモン指定静電インソール以外使用しないでください。又、中途・インソール・足の間に絶縁性の挿入材を入れないでください。
2. 次の場合、導電性となり、感電の危険があるため使用しないでください。
 - (1) 鞋底にくぎ、金属片等の導電性物体が突き刺さったとき、または甲被や鞋底が摩耗し、先芯や踵芯が露出したり穴あきを生じたとき。
 - (2) 甲被が濡れた状態のとき。
3. 表底の材料特性に注意して使用し、損傷した場合は出来るだけ早く交換してください。

名札仕様書

（活動服用・救急服用・救助服用）

磐田市消防本部

名札仕様書

1 概要

この仕様書は磐田市消防本部にて調達する名札(活動服用・救急服用・救助服用)について必要な事項を定める。

2 品名

名札(活動服用・救急服用・救助服用) 【品番(例)イマジョーN8358】

3 条件

- (1) 活動服用名札は、エンブルクロスブルー台座、オレンジ文字刺繍で、字体楷書体として、縦6cm×横9cmとする。
- (2) 救急服用名札は、グレー台座、黒文字刺繍で、字体楷書体として、縦6cm×横9cmとする。
- (3) 救助服用名札は、オレンジ台座、黒文字刺繍で、字体楷書体として、縦6cm×横9cmとする。
- (4) 表面は、上段に磐田市消防本部、下段に氏名(フルネーム)を記載すること【参照①】。また、救急救命士資格保持者は、意向により中段に救急救命士と記載すること【参照②】。
- (5) 裏面は、マジックテープとして、活動服等に着脱可能な構造であること。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、消防総務課担当者の指示を受けなければならない。
- (7) 本仕様書は、当本部にて協議し決定したものであり応札者又は落札者の勝手な解釈で変更してはならないものとする。

【参照①】

磐田市消防本部
フルネーム

【参照②】

磐田市消防本部
救急救命士
フルネーム